

かいほう

社団法人設立30周年特別記念号

No.60



社団法人 全国建設機械器具リース業協会

特集・社団法人設立三十周年

会長挨拶

社団法人全国建設機械器具リース業協会会長 荒井敏彦

1

来賓挨拶

国土交通省総合政策局 建設施工企画課長 関 克己

3

写真で見る二十周年記念祝賀会

5

協会役員年度別就任一覧

12

支部・支部長別一覧

15

十年のあゆみ

平成五年十月十八日
「全建リース協二十年誌」発行以降

17

賠償制度

全建リース総合賠償制度支部別加入状況

26

お知らせ

平成十五年度社外機械使用実態調査結果について

27

国土交通大臣表彰

34

平成十六年度可搬形発電機整備技術者試験合格者

35

支部だより

京都支部

37

報告

委員会活動報告

38

協会より

協会支部名簿

48

あとがき

49



●写真
東京・品川上空より 開発が進むJR品川駅東口地区



「協会組織は会員企業の連携組織」

社団法人 全国建設機械器具リース業協会
会長 荒井敏彦

平成16年10月27日、第79回理事会終了後、社団法人設立30周年記念祝賀会を滞りなく終了させていただきました。これも偏に国土交通省の幹部の皆様、又関係団体、賛助会員、更には会員各位の御理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

当協会にとりましては、業界が厳しい現状ではありましたが、30年の節目として将来への活力をつちかうために開催させていただきました。平成5年に、社団法人設立20周年の節目を迎え、今後の業界の課題といたしまして、「活力と魅力に溢れた業界」を目指しておりましたが、我国の経済環境は一転して、デフレ不況に見舞われ、公共事業費も毎年度削減され、企業間競争が激化し、建設関連産業であります建設機械器具リース・レンタル

業界も多大な影響を受け、今日に至っております。

しかしながら、建設業者等は、リース・レンタル業者の保有する建設機械器具への依存度は高い状況であり、今後もリース・レンタル機器の利用は高まるものと予想されており、社会的責任を果たす上で、経営体質の改善を図る必要性を迫っております。業界は適正な利益を重視した健全な経営を行っていくことが重要です。利益の中で法規制にあった新規の設備投資が出来、整備の行き届いたレンタル機器を安定供給することに努め、社会貢献をしていくことであります。

建設関連産業の全体の取り組みは、「優れた経営と技術により信頼される業界」を目指して周知徹底が図られていくところであります。

一方、行政の施策の一環といたしましては、新分野進出等の経営革新指針が示されており、更なる本業の綿密な分析・判断により、異業種への参画を期待されておるところでもあります。

協会運営につきましては、低迷し続ける景気や建設投資の縮小などの厳しい状況下において、経費削減のため等の理由で会員企業の退会もありますが、反面協会の必要性を認識され入会される企業もあります。

協会組織は会員企業の連携組織でありますことから、今後も、各地区での活動を中心に組織の充実を図り、業界の価値を高め、リース・レンタル業の特異性を再認識していただく努力が必要です。その事が、当協会の独自性を保てることに繋がると思っています。

今後とも、協会組織の充実を図り、40年目の節目、50年目の節目を迎えることが出来ますよう、会員各位のご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、会員各位の今後ますますのご繁栄を祈念申し上げます。





「(社)全国建設機械器具リース業協会設立30周年挨拶」

国土交通省総合政策局 建設施工企画課長

関 克 己

社団法人全国建設機械器具リース業協会設立30周年、誠におめでとうございます。

貴協会は、昭和49年10月18日に建設機械器具賃貸業界の組織化と企業経営の近代化を通じ、業界の発展と社会的地位を向上させることを目的に設立され、社団法人としてスタートをされました。

以来この30年の間に、構造改善事業を積極的に展開され、税制の割増償却の活用による設備の近代化、不良機械の排除及び公害対策機械の導入に積極的に取り組まれたのはじめ、ユーザーと賃貸業者との接点における各々の責任範囲を明確化する観点から整備状態表等を作成したことや管理者研修の実施等による人材の育成等に、多大な成果を挙げてられました。これらのご努力

に対しまして、改めて深く敬意を表する次第であります。

さて、建設産業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあるなかにあつて、資産の固定化を防ぎ経営の効率化が図られるあるいはアウトソーシングすることで面倒な作業から開放される等のメリットから、建設機械器具のリースレンタル化は、年々確実に高まってきております。

リースレンタル建設機械器具の建設事業への寄与度が高まるに従い、建設機械器具賃貸業界においては、適正な整備・管理水準の確保を図ることにより、建設業者等との信頼の絆をより一層高めていくとともに、個々の企業における品質確保に必要なコスト意識を高揚させることが、益々重要となつてきておるところであります。

また、国土交通省は、公道を走行しない建設機械の排出ガス対策について、法制化も視野に入れた検討を行っているところであり、環境対策型の建設機械のより一層の普及が望まれているところであります。

さらに、今年は、豪雨や台風による災害が多発しました。貴協会は、災害への取組みとして、公共団体等からの建設機械の調達要請に迅速に対応できるような防災に対する緊急時連絡網が、支部単位に構築されているとお聞きしております。危機管理体制の一層の充実を期待するものであります。

貴協会におかれましては、今後ともこれらの課題に積極的に取り組まれ、建設事業等への信頼性の確保、リースレンタル建設機械器具の効率的な運用、環境対策、危機管理対応等を通じ、建設機械器具賃貸業界の発展と社会的地位の向上に大いに寄与されることを期待する次第であります。

終わりに、貴協会の今後のご発展と、会員の皆様方ますますのご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



開会風景

社団法人設立三十周年記念祝賀会次第

- 一 開会挨拶 協会副会長 末田 芳晴
- 一 会長挨拶 協会会長 荒井 敏彦
- 一 来賓挨拶 国土交通省総合政策局 建設施工企画課長 関 克己 殿
- 一 乾杯 株式会社小松製作所 代表取締役社長 坂根 正弘 殿
- 一 閉会挨拶 協会副会長 内箇 竹男



壇上全景

社団法人設立30周年記念祝賀会
(社)全国建設機械器具リース業協会



会長挨拶
会長 荒井 敏彦



開会挨拶
副会長 末田 芳晴



来賓挨拶
建設施工企画課長 関 克己 様



社団法人設立三十周年記念祝賀会
写真で見る三十周年記念祝賀会

10月27日キャピトル東急ホテル「紅真珠の間」において
社団法人設立三十周年記念祝賀会が開催されました。



御出迎いの役員

入場風景



懇談風景



懇談風景



乾杯
(株)小松製作所 社長 坂根 正弘 様



懇談風景



懇談風景



写真で見る三十周年記念祝賀会

協会役員年度別就任一覧(五十音順)

●会長 ■専務理事 ▲常任理事 ☆監事
○副会長 □常務理事 △理事 ※参与

氏名	支部	年度(平成)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
青木 大和	沖縄										※	※	
秋山 正信	四国								※	※	※		
雨森 登	福井											※	※
荒井 敏彦	東京				☆	☆	△	△	▲	▲	●	●	●
家城 讓	—											△	
石井 毅	大阪		○	○		○							
石井 嘉一	宮城		○	○	○	○	○	○	○	○			
石塚 幸司	群馬		△	△	△	△	△	△	※	※	※	※	※
石橋 久仁夫	京都							※	※	※	※	※	※
井谷 昭男	和歌山			※	※								
一瀬 益夫	—								△	△	△	△	△
伊豆田 正志	山形				※	※	※	※					
伊藤 武史	北海道								▲	▲	○	○	
伊藤 公明	九州								○				
稲尾 長亮	九州		△	△	○	○	○	○					
稲垣 光夫	北海道		△	△	△	△	△	△					
稲富 勲	九州		○	○									
上山 武俊	九州								○	○	○	○	
内園 竹男	東京									▲	○	○	○
江藤 信男	事務局									□	□	□	□
大高 至	秋田		※	※	※	※							
大島 公夫	東京		☆	☆									
大屋 寧佐	事務局		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
岡崎 治義	—										△	△	△
岡部 康弘	沖縄				△	△	△	△					
小田切 和起	大阪		☆	☆			△	△					
小野寺 隆	栃木		△	△									
小俣 修一	東京											△	
小俣 實	東京		●	●	●	●							
片桐 理	北海道		○	○	○	●	○	○					
角口 賀敏	和歌山		※	☆	☆	☆	☆	☆	▲	▲	▲	▲	▲
金山 静雄	神奈川								▲	▲	▲	▲	▲
川村 雄藏	青森		△	△	△	△	▲	▲	▲	▲			
川本 政司	和歌山						※	※					
菊地 捷士	岩手		☆	☆	☆	☆							
北岡 清	滋賀										※	※	※
木立 政弘	神奈川						▲	▲					
北野 一雄	大阪										▲	▲	▲
気田 福俊	青森										※	※	※
京谷 弘也	—												△
楠山 茂一	東京										▲	▲	
久保山 英明	—												△
国本 新宰	茨城			△	△	△	△	△					
栗田 信一	—											△	△
古岸 啓良	—								△	△	△		

注)・・・斜線は途中辞任



司会
事務局長 江藤 信男



閉会挨拶
副会長 内園 竹男

退場風景



協会役員年度別就任一覧(五十音順)

●会長 ○副会長 ■専務理事 □常務理事 ▲常任理事 △理事 ☆監事 ※参与

氏名	支部	年度(平成)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
永田 正陽	—								△	△	△	△	
中野 勇	宮城		○										
中野 登	九州										☆	☆	
中村 勲	—								△	△	△	△	△
中村 吉輝	滋賀							※	※	※	※		
名倉 邦夫	事務局		□	□	□	□	□	□	□				
西垣 勝也	東京						△	△	▲	▲			
西田 光行	—								△	△	△	△	△
根本 忠直	茨城		△	△									
林 秀一	—												△
原澤 伸治	—								△	△	△	△	
原 照雄	静岡		△	△	△	△							
廣津 迪伸	大阪		▲	▲		▲	○	○	○	○			
深町 民雄	—								△	△			
福嶋 敏栄	福井		※	※	※	※	※	※	※	※			
福田 寛	静岡						△	△	☆	☆	☆	☆	☆
福田 武寛	大阪		△	△		△	▲	▲					
福田 幸夫	秋田						※	※					
福山 勝	東京		▲	▲	▲	▲	▲	▲					
藤井 豊一	中国		△	△	△	△	△	△					
船越 大資	—								△	△	△	△	
真瀬垣 昇次	長野												※
松岡 崑	中部		△	△	△	△							
松尾 茂	東京		▲	▲	▲	▲	▲	▲	※	※	※	※	※
松田 彦知	滋賀		※	※	※	※							
松山 博	兵庫								▲	▲			
三原 達雄	四国		△	△	△	△	▲	▲					
宮城 明	沖縄		△	△									
室井 芳隆	—										△	△	△
茂木 忠男	山形								※	※	※		
矢崎 照男	長野		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲		
山城 一三	沖縄								※	※			※
山本 高義	中国		▲	▲	▲	▲	○	○					
吉川 義孝	石川		△	△	△	△	△	△	△	△			
吉田 重治	富山									※			
吉田 正晴	岩手						☆	☆	※	※	▲	▲	※
渡邊 和夫	—								△	△			
渡辺 勝一	栃木				△	△	△	△	※	※	※	※	

注)・・・斜線は途中辞任

協会役員年度別就任一覧(五十音順)

●会長 ○副会長 ■専務理事 □常務理事 ▲常任理事 △理事 ☆監事 ※参与

氏名	支部	年度(平成)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
後藤 泰治	福島		△	△	△	△	△	△	※	※	▲	▲	○
小林 定之	東京		▲	▲	▲	▲	▲	▲	●	●	●		
根田 喜久雄	秋田												※
近藤 昌三	中部		○	○	○	○	○	○					
斎藤 厚士	—								△	△			
斎藤 善勇	秋田								※	※	※	※	
酒井 一郎	—												△
酒井 忠晴	東京		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲				
酒井 知隆	栃木												▲
酒井 安治	新潟		△	△	△	△	△	△	※	※	※	※	☆
榊原 章	中部						△	△					○
榊原 文男	沖縄								※	※			
阪本 敏彦	中国								▲	▲	▲	▲	○
崎本 孝幸	—												△
佐藤 勲	神奈川						▲						
佐藤 勉	山形		※	※									
佐藤 政雄	神奈川		▲	▲	▲	○	○						
佐藤 幸夫	—								△	△	△	△	△
佐藤 美武	—								△	△	△		
佐野 雅宏	—												△
澤田 将稔	富山										※	※	※
三瓶 徳司	東京		▲	▲	▲	○	●	●					
志村 剛男	神奈川						△	△					
下田 昇	—								△	△	△	△	
下村 昇	兵庫					▲	▲	▲	▲				
白澤 靖夫	福井								※	※	※	※	
東海林 寛次	山形											※	※
末田 芳晴	兵庫										○	○	○
菅原 隆夫	宮城		※	※	※	※	※	※					
須藤 則行	—												△
関 睦夫	—								△	△	△		
園田 外次	石川											※	▲
高野 義雄	富山		※	※	※	※	※	※	※	※			
田子 智久	—											△	
館内 明夫	宮城										※	※	▲
田所 伸雄	四国											※	※
玉井 武治	神奈川		○	○	○								
千葉 育雄	—								△	△	△	△	△
辻本 治	—								△	△	△	△	△
雷田 尚孝	兵庫		▲	▲									
富山 政明	北海道												▲
寅 太郎	東京												△
中澤 力	東京							☆	☆	☆	☆	☆	☆
永島 賢治	九州				△	△	△	△	☆	☆			▲
中島 英輔	—								△	△	△	△	△

注)・・・斜線は途中辞任

十年のあゆみ

平成五年十月十八日
「全建リース協二十年誌」発行以降

第57回理事会

日時 平成5年11月26日(金)
場所 オークラホテル(高松)

議題

① 社団法人設立20周年記念式典を終えて

日時 平成5年10月18日(月)
場所 虎ノ門パストラル
全建リース協20年誌発行

第58回理事会

日時 平成6年5月27日(金)
場所 池之端文化センター

【決議事項】

北海道、宮城、神奈川、大阪、九州支部の従たる事務所の移転が承認された。
「全建リース総合賠償共済制度」(案)について審議が行われた。

第21回定期総会

日時 平成6年5月27日(金)
場所 池之端文化センター

議事

第21回定期総会議案書は原案どおり可決承認された。
(第3号議案は任期満了に伴い役員が改選された。)

【報告事項】

建設大臣表彰(平成5年7月12日)
会長 小俣 實 殿

第59回理事会

日時 平成6年10月13日(木)
場所 奥入瀬溪流グランドホテル

【決議事項】

- ① 全建リース総合賠償共済制度を創設することが承認された。
- ② 建設機械器具賃貸業管理技士設置業者証を作成することが承認された。
- ③ 可搬形発電機整備技術者の資格有効期限を、平成9年度より5年間とすることが承認された。

臨時理事会

日時 平成7年2月2日(木)
場所 佐々木研究所メモリアルホール

議案

- ① 阪神大震災に対する義援金として500万円を日本赤十字社に寄付することが承認された。
- ② 「全建リース総合賠償共済制度」については、「基本プラン」に「オペレーションミス担保特約」を付帯する方式が承認された。
- ③ 有全建リースサービスの設立について審議が行われた。

第60回理事会

日時 平成7年5月26日(金)
場所 池之端文化センター

【決議事項】

第22回定期総会議案書について審議を行い、原案通り定期総会に上程することが承認された。

第22回定期総会

日時 平成7年5月26日(金)
場所 池之端文化センター

議事

第22回定期総会議案書は原案通り可決承認された。
(第3号議案は従たる事務所(大阪支部)の廃止が承認された。)

【報告事項】

建設大臣表彰(平成6年7月11日)
副会長 玉井 武治 殿

第61回理事会

日時 平成7年10月19日(木)
場所 阿蘇プリンスホテル

【決議事項】

- ① 「全建リース総合賠償共済制度」の運営方針について
- ② 「建設機械器具賃貸業とPL法Q&A」小冊子及び「レンタルの手引」を作成することが承認された。

第62回理事会

日時 平成8年5月24日(金)
場所 池之端文化センター

【決議事項】

「全建リース総合賠償共済制度」に関する運営方針として、(社)全建リース業協会の「別働体代理店」として有全建サービ

【報告事項】

スを設立することが承認された。
第2次構造改善事業は、平成8年度で終了することが報告された。

第23回定期総会

日時 平成8年5月24日(金)
場所 池之端文化センター

議事

第23回定期総会議案書は原案通り可決承認された。
(第3号議案は任期満了に伴い役員が改選された。)

【報告事項】

藍綬褒章受章(平成7年5月16日伝達)
会長 小俣 實 殿
建設大臣表彰(平成7年7月10日)
常任理事 福山 勝 殿
黄綬褒章受章(平成7年11月17日伝達)
常任理事 三瓶 徳司 殿

第63回理事会

日時 平成8年10月24日(木)
場所 新都ホテル(京都)

【決議事項】

- ① 第3次構造改善事業を実施することが承認された。
- ② 中部、九州、宮城、3支部の住所変更登記をすることが承認された。

【報告事項】

「全建リース総合賠償共済制度」に関して、有全建サービ

を(有)ケンとして、平成8年7月16日に設立登記を完了したことが報告され承認された。

第64回理事会

日時 平成9年5月23日(金)
場所 池之端文化センター

【決議事項】

- ①第24回定期総会議案書について審議を行い、原案通り定期総会に上程することが承認された。
- ②従たる事務所(大阪支部)の設置が承認された。
- ③「常勤役員定年規程」及び「常勤役員定年規程の適用者に対する取扱基準」について審議が行われ承認された。

【報告事項】

「RENTALの手引」No.2の発行

第24回定期総会

日時 平成9年5月23日(金)
場所 池之端文化センター

議事

第24回定期総会議案書は原案通り可決承認された。

【報告事項】

- 黄綏褒章受章(平成8年5月14日伝達)
常任理事 松尾 茂 殿
- 黄綏褒章受章(平成8年11月12日伝達)
副会長 玉井 武治 殿
- 建設大臣表彰(平成8年7月10日)
副会長 近藤 昌三 殿
- 前副会長 中野 勇 殿

第65回理事会

日時 平成9年10月23日(木)
場所 ホテル日航東京

【報告事項】

- ①「建設機械リース・レンタルネットワーク検討委員会」の設置が報告され承認された。
- ②第3次構造改善事業計画策定のため「建設機械器具賃貸業実態調査」を行ったことが報告され承認された。

常任理事会

日時 平成9年6月9日(月)
場所 (社)全建リース協会 会議室

議題

- ①顧問弁護士として、内野経一郎 殿に委嘱することが承認された。
- ②「全建リース総合賠償共済制度」を「全建リース総合賠償制度」に名称変更することが承認された。

第66回理事会

日時 平成10年5月22日(金)
場所 池之端文化センター

【決議事項】

- ①第25回定期総会議案書について審議を行い原案通り定期総会に上程することが承認された。
 - ②第3次構造改善計画を建設大臣に申請することが承認された
- 【報告事項】
「建設機械器具リース・レンタルネットワーク構築検討委員会」の報告として、平成10年度に基本設計等の検討、平成11年度に試行運用とすることの説明が行われ承認された。

第25回定期総会

日時 平成10年5月22日(金)
場所 池之端文化センター

議事

- ①第25回定期総会議案書は原案通り可決承認された。
- ②第3号議案は定款変更の件
「公益法人の設立許可及び指導監督基準並びに同運用指針」の趣旨に従い、定款一部変更が行われた。

改正前

(選任)

第13条 役員は、総会において会員から選任する。ただし、専務理事及び常務理事については、会員以外から選任することができる。

2 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

改正後

(選任)

第13条 役員は、総会において会員から選任する。ただし、理事のうち18名以内、及び監事のうち1名については、会員以外から選任することができる。

2 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

第4号議案は任期満了に伴い役員が改選された。

【報告事項】

- 黄綏褒章受章(平成9年11月14日伝達)
副会長 石井 毅 殿
- 黄綏褒章受章(平成9年11月14日伝達)
前副会長 中野 勇 殿

第67回理事会

日時 平成10年10月22日(木)
場所 ホテル仙台北ラザ「松島」

【決議事項】

- ①京都支部(京都建設機械リース業協会)人会及び支部設置が承認された。
 - ②茨城支部(茨城県建設機械リース業協会)の退会及び支部廃止が承認された。
- 【報告事項】
第3次構造改善計画が、平成10年7月29日付で承認されたことが報告され承認された。

第68回理事会

日時 平成11年5月21日(金)
場所 池之端文化センター

【決議事項】

- ①第26回定期総会議案書について審議を行い、原案通り定期総会に上程することが承認された。
- ②各地区の27の従たる事務所については、(社)全建リース協の支部として「支部名称」統一が承認された。

第26回定期総会

日時 平成11年5月21日(金)
場所 池之端文化センター

議事

第26回定期総会議案書は原案通り可決承認された。

【報告事項】

黄綬褒章受章(平成10年11月12日伝達)
副会長 山本 高義 殿
建設大臣表彰(平成10年7月10日)
副会長 廣津 勉伸 殿
常任理事 三原 達雄 殿

第69回理事会

日 時 平成11年10月21日(木)
場 所 ホテル花水木(長島温泉)

【報告事項】

- ①「建設機械器具リース・レンタルネットワーク構築」の試行を小エリア(北海道地区)で平成12年度より実施することが報告され承認された。
- ②建設機械の排出ガス第2次対策について
- ③中小企業経営革新支援法(中小企業近代化促進法は廃止)が、平成11年7月2日より施工されていることが報告された。

第70回理事会

日 時 平成12年5月26日(金)
場 所 池之端文化センター

【決議事項】

第27回定期総会議案書について審議を行い、原案通り定期総会に上程することが承認された。

第27回定期総会

日 時 平成12年5月26日(金)
場 所 池之端文化センター

議事

第27回定期総会議案書は原案通り可決承認された
(第3号議案は任期満了に伴い役員が改選された)

【報告事項】

建設大臣表彰(平成11年7月12日)
副会長 片桐 理 殿
常任理事 川村 雄藏 殿

第71回理事会

日 時 平成12年10月12日(木)
場 所 池之端文化センター

【決議事項】

- ①従たる事務所(神奈川支部・中国支部)の変更が承認された
- ②委員会設置に関する規程(施行日平成12年6月1日)が承認された。

常任理事会

日 時 平成13年4月18日(水)
場 所 池之端文化センター

議事

「建設機械器具賃貸に関する知識等に関する審査・証明事業認定規程」廃止に伴う管理技士制度についての検討委員会設置が承認された

第72回理事会

日 時 平成13年5月23日(水)
場 所 池之端文化センター

【決議事項】

第28回定期総会議案書について審議を行い、原案通り定期総会に上程することが承認された。

【報告事項】

- ①建設機械器具のリース・レンタルネットワークシステムを全国対応版のシステムに作り変え、平成14年4月1日より稼働することが報告され承認された。
- ②建設機械器具賃貸管理技士試験制度については、平成13年3月31日付をもって建設工事等の知識に関する審査・証明事業認定程は廃止とする国土交通大臣の告示がなされたことが報告された。
- ③国土交通省からの5年に一度の受託業務の一環として「リース・レンタル建設機械情勢調査報告書」を3月に作成したことが報告され承認された。

第28回定期総会

日 時 平成13年5月23日(水)
場 所 池之端文化センター

議事

第28回定期総会議案書は原案通り可決承認された。

【報告事項】

建設大臣表彰(平成12年7月13日)
副会長 石井 嘉一 殿

第73回理事会

日 時 平成13年10月26日(金)
場 所 池之端文化センター

【決議事項】

新管理技士制度登録規程(大臣認定制度から協会認定制度に切り替え運用を図るため)が承認された。施行日は平成13年10月26日。

第74回理事会

日 時 平成14年5月28日(火)
場 所 池之端文化センター

【決議事項】

第29回定期総会議案書について審議を行い、原案通り定期総会に上程することが承認された。

【報告事項】

新教育制度については、平成14年度中に東京地区で講習会試行を行う予定であることが報告された。

第29回定期総会

日 時 平成14年5月28日(火)
場 所 池之端文化センター

議事

第29回定期総会議案書は原案通り可決承認された
(第3号議案は任期満了に伴い役員が改選された)

【報告事項】

黄綬褒章受章(平成13年5月15日)
元常任理事 福山 勝 殿
藍綬褒章受章(平成13年11月14日)
元会長 片桐 理 殿

国土交通大臣表彰(平成13年7月10日)
会長 小林 定之 殿

第75回理事会

日 時 平成14年10月23日(水)
場 所 池之端文化センター

【決議事項】

①役員辞任に伴う役員候補者が選任され、臨時総会に上程することが承認された。

【特記事項】

新役員(案)
会長 荒井 敏彦 殿(東京支部)
副会長 内園 竹男 殿(東京支部)
常任理事 北野 一雄 殿(大阪支部)
②主たる事務所移転が承認された
新住所
〒101-0036
東京都千代田区神田北乗物町11番地 イザキビル4階

③運営委員会設置(協会運営に関する全責任を負う。正副会長7名で構成)が承認された。
④管理技士永久登録(更新を取りやめる)とすることが承認された。
⑤定款を変更して賛助会員制度を制定することが承認された。

【報告事項】

①平成14年度で第3次構造改善計画は終了することが報告され承認された。
②「経営指標(比率)」は、第11回経営指標作成のための調査を以って廃止することが承認された。

臨時総会

日 時 平成14年10月23日(水)
場 所 池之端文化センター

【決議事項】

辞任に伴う役員・理事選任により、会長 荒井 敏彦 殿、副会長 内園 竹男 殿、常任理事 北野 一雄 殿が就任することが承認された。

【特記事項】

建設機械器具のリース・レンタルネットワークシステムは、再度インターネットウィルスに感染したため、その対応を検討した結果、平成15年4月4日にシステムの運用を中断することにした。

第76回理事会

日 時 平成15年5月27日(火)
場 所 池之端文化センター

【決議事項】

①第30回定期総会議案書について審議を行い、原案通り定期総会に上程することが承認された。
②定款の一部変更(賛助会員制度制定)に関して、国土交通省より、社団法人として充実した定款にするよう指導があり、大幅な改正を行うことが承認された。

第30回定期総会

日 時 平成15年5月27日(火)
場 所 池之端文化センター

議 事

第30回定期総会議案書は原案通り可決承認された。

【報告事項】

黄綬褒章受章(平成14年5月14日伝達)
前常任理事 川村 雄藏 殿
黄綬褒章受章(平成14年11月13日伝達)
前会長 小林 定之 殿
国土交通大臣表彰(平成14年7月10日)
副会長 末田 芳晴 殿

第77回理事会(常任理事会と合同)

日 時 平成15年10月23日(木)
場 所 池之端文化センター

【報告事項】

①従たる事務所の所在地変更が承認された。
従たる事務所 住居表示
東京都千代田区神田北乗物町11番地

イザキビル4階
神奈川支部 神奈川県横浜市神奈川区栄町2-10
アール・ケープラザⅢ1103
中国支部 広島県広島市西区古江新町7-10
②「CONNECT2003(建設機械と新施工技術展示会)」
(平成15年9月4日~6日)の出席について
③平成16年度可搬形発電機整備技術者認定試験問題変更
(○×方式から二者択一方式)について

第78回理事会

日 時 平成16年5月27日(木)
場 所 池之端文化センター

【決議事項】

①第31回定期総会議案書について審議を行い原案通り定期総会

に上程することが承認された。

②社団法人設立30周年記念祝賀会について
③可搬形整備技術者講習会制度に関する規程の一部変更(第7条の一部「企業認定証」を削除することが承認された)

【報告事項】

建設機械の名称統一について周知を図ることが承認された。

第31回定期総会

日 時 平成16年5月27日(木)
場 所 池之端文化センター

議 事

第31回定期総会議案書は原案通り可決承認された。
(第3号議案は任期満了に伴い役員が改選された)

講習会等事業

建設機械器具レンタル業 管理者教育講習会を実施する。

①組織の責任者としてマネージメントに必要な管理能力のレベルアップを図り、実務に直結出来ることを目的とした講習会

②講習科目

1.レンタルの概要
建設機械器具レンタル業界の動向他

2.マネージメントI
方針・目標設定/動機付け・実行計画策定・実績評価他

3.営業管理I
経営計画策定手順・業務方針の目標化他

4.利益管理
収益、コスト原価の関係・収益構造他

5.原価管理
経営計画と原価管理の関係他

全建リース総合賠償制度支部別加入状況

(2004年10月計上分まで)

(単位：円)

支部名	会員数 (本社)	基本プラン		オペミス+ユ特+交差		合計	加入率
		加入数	掛け金	加入数	掛け金		
北海道	72	24	4,729,400	23	11,220,000	15,949,400	33.3%
青森	18	5	1,484,500	5	3,157,500	4,642,000	27.8%
秋田	14	8	1,220,500	8	2,781,000	4,001,500	57.1%
岩手	8	5	774,000	4	1,153,000	1,927,000	62.5%
宮城	26	13	2,439,000	11	7,483,000	9,922,000	50.0%
山形	9	8	1,246,500	8	1,800,500	3,047,000	88.9%
福島	29	7	1,212,760	3	1,121,000	2,333,760	24.1%
新潟	19	5	879,500	4	749,000	1,628,500	26.3%
群馬	10	0	0	0	0	0	0.0%
栃木	18	4	522,500	4	836,000	1,358,500	22.2%
東京	166	36	5,756,950	24	12,128,270	17,885,220	21.7%
神奈川	47	18	2,402,100	14	7,775,110	10,177,210	38.3%
長野	16	2	303,000	2	597,500	900,500	12.5%
静岡	21	4	638,080	3	638,080	1,276,160	19.0%
中部	54	25	4,310,340	19	7,292,500	11,602,840	46.3%
富山	21	5	1,085,500	3	794,000	1,879,500	23.8%
石川	27	11	1,786,500	0	0	1,786,500	40.7%
福井	11	7	1,370,000	1	152,000	1,522,000	63.6%
滋賀	18	3	437,000	2	874,000	1,311,000	16.7%
京都	10	3	434,000	2	940,500	1,374,500	30.0%
大阪	74	2	687,500	1	1,137,500	1,825,000	2.7%
和歌山	20	1	90,000	0	0	90,000	5.0%
兵庫	32	7	1,068,500	6	1,585,000	2,653,500	21.9%
中国	70	11	2,120,400	8	4,735,070	6,855,470	15.7%
四国	14	3	525,500	3	808,000	1,333,500	21.4%
九州	96	15	2,246,000	14	7,818,500	10,064,500	15.6%
沖縄	13	11	1,645,420	9	4,221,080	5,866,500	84.6%
合計	933	243	41,415,450	181	81,798,110	123,213,560	26.0%

第79回理事会

日時 平成16年10月27日(木)
場所 キャピトル東急ホテル

【決議事項】

定款第46条(暫定予算)については、平成17年度より、必ず秋の理事会で決議事項として取り上げ、「暫定予算として次年度予算の成立日まで前事業年度の予算に準じて収支を行う」こととすることが承認された。

【報告事項】

会員等功績者表彰規定細則が報告され承認された。

【特記事項】

- 6 営業管理Ⅱ
- 7 安全管理
売掛管理・与信管理・財務分析他
安全管理の重要性・関係法令他
- 8 品質管理
品質保証と品質改善・品質保証活動他
- 9 マネージメントⅡ情報管理
情報の役割、価値・管理者に必要な情報他
- 10 マネージメントⅢ顧客管理
感動するサービス、不満の残るサービス他

国土交通大臣表彰(平成16年7月12日)
副会長 後藤 泰治 殿
参与 石塚 幸司 殿

社団法人設立30周年記念祝賀会

日時 平成16年10月27日(木)
場所 キャピトル東急ホテル「紅真珠の間」
祝賀会次第

- 一 開会挨拶 協会副会長 末田 芳晴
- 一 会長挨拶 協会会長 荒井 敏彦
- 一 来賓挨拶 国土交通省総合政策局 関 克己 殿
建設施工企画課長
- 一 乾杯 株式会社小松製作所 坂根 正弘 殿
代表取締役社長
- 一 閉会挨拶 協会副会長 内園 竹男

【報告事項】

キャピトル東急ホテル「紅真珠の間」において、社団法人設立30周年記念祝賀会が開催されました。国土交通省総合政策局建設施工企画課長 関 克己様をはじめ、多数の御来賓・賛助会員の方々の出席を賜り盛大に行われました。株小松製作所代表取締役社長 坂根 正弘様の音頭により乾杯、参加(180名)していただいた方々のコミュニケーションの輪がそこかしこにでき、大変有意義な祝賀会になりました。

社外機械使用実態調査・構成比率一覧表

平成15年11月

資料第1 (単位: %)

対象機械品目	仕様	建設業者(調査会社と協力業者)のリース依存度 B+D/E	調査会社のリース依存度 B/A+B	協力業者のリース依存度 D/C+D	
1	ブルドーザ	普通 全機種	44.9	89.7	35.4
2	ブルドーザ	リッパ付 45t未満	16.0	100.0	12.9
3	ブルドーザ	リッパ付 45t以上	13.4	50.0	12.3
4	ブルドーザ	湿地 全機種	37.5	85.7	35.7
5	被けん引式スクレーパ	全機種	32.6	0.0	33.3
6	M.スクレーパ	全機種	40.0	100.0	38.6
7	油圧ショベル	山積 1m³未満	51.6	92.0	45.4
8	油圧ショベル	山積 1m³以上	31.1	97.9	28.0
9	トラクタショベル	山積 2m³未満	49.3	75.9	44.8
10	トラクタショベル	山積 2m³以上	29.7	66.7	25.9
11	ホイールローダ	山積 4m³未満	56.4	79.1	42.8
12	ホイールローダ	山積 4m³以上	75.9	84.2	36.4
13-1	ズリ積機	0.17m³以上 (No.13-2を除く)	50.0	73.3	43.1
13-2	ズリ積機	クローラ式 バックホウ型	59.9	93.9	49.0
14-1	ダンプトラック	11t積未満	37.6	87.1	34.0
14-2	重ダンプトラック	32t積未満	40.1	55.5	30.3
15	重ダンプトラック	32t積以上	17.0	66.7	14.2
16	機関車	バッテリー式 全機種	59.6	59.9	57.6
18	ズリ鋼車	側開転倒式 1~6m³	78.4	85.9	48.0
19	クローラクレーン	全機種	46.3	89.2	26.7
20	トラッククレーン	ラフテレンクレーンを含む全機種	50.8	97.4	32.4
21-1	タワークレーン	起伏式 油圧クライミング120tXm未満	39.2	43.8	17.6
21-2	タワークレーン	起伏式 油圧クライミング120tXm以上	14.5	14.4	16.7
22	タワークレーン	起伏式 ワイヤクライミング	49.3	53.2	22.2
23	タワークレーン	水平型 油圧クライミング全機種	55.9	51.7	80.0
24	ジブクレーン	全機種	38.2	37.4	46.2
25-1	工事用エレベータ	普通型 全機種	44.6	48.0	15.0
25-2	工事用エレベータ	高速型 全機種	41.2	41.5	33.3
26	工事用エレベータ	ロングスパン 全機種	52.0	54.6	31.6
27-1	門型クレーン	3t未満	64.7	77.1	20.8
27-2	門型クレーン	3t以上	73.2	77.4	54.8
28	フォークリフト	全機種	70.2	88.7	45.7
29-1	泥水処理装置	全機種	79.0	88.9	62.1
29-2	濁水処理装置	全機種	75.3	78.3	58.4
30	トンネル用ドリルジャンボ	全機種	50.9	49.7	54.9
31	クローラドリル	全機種	17.3	71.4	13.6
32	軟岩トンネル掘進機	全機種	52.8	66.7	14.3
33	モータグレーダ	全機種	47.2	52.5	35.1
34	転圧ローラ	自走式 全機種	60.7	62.6	57.8
35	コンクリートプラント	全自動・強制練型 0.75m³以上	65.6	79.1	33.3
36	コンクリートプラント	全自動・傾胴型 0.75m³X2以上	16.0	21.1	0.0
37	コンクリートポンプ	定置式 10m³/hr以上	42.3	84.4	26.8
38	A.フィニッシャ	全機種	52.9	53.2	51.7
39	空気圧縮機	定置式 全機種	66.1	80.7	57.0
40	空気圧縮機	ポータブル式・全機種 (除ベビコン)	68.2	92.9	56.2
42	キュービクル式高圧受変電設備	全機種	45.7	45.8	45.0

平成15年度社外機械使用実態調査結果について

1、調査概要、回収状況等
 (1) 本調査も昭和52年の第1回調査以来、26回目(昭和53年度休み)となった。本調査は時宜に適したデータとするために、調査対象機種、仕様および集計方法等を見直しながら行っており、今回からは社外機械使用率が高いファン、ディーゼル発電機、高所作業車(室内用、作業床高10m未満、10m以上)の5機種は調査の必要がないと考え、対象から除外した。本調査はここ数年委員会のみならず関係業界、行政機関等各方面からの注目を集めるなど、その重要性は非常に大きなものとなっている。なお、現在の調査対象機種は62機種である。

2、調査結果について
 (2) 調査対象会社は、社団法人日本土木工業協会、社団法人 日本電力建設業協会の積算研究委員会および機械専門委員会の委員会社29社である。回答は全社からいただいた。なお、調査台数は36、115台であった。

①建設業者のリース依存度は48・1%、②調査会社のリース依存度は67・2%、③協力業者のリース依存度は38・3%となっている。本年度より調査対象機種を見直したため、昨年度調査結果との比較のために、昨年度調査を本年度と同じ機種で再計算したところ、①建設業者のリース依存度は1ポイントの増、②調査会社のリース依存度は5・4ポイントの増、③協力業者のリース依存度は0・3ポイントの減となった。前年度に比べ、依存度が高くなったものは

29機種で、特に稼働数の少ない、ディーゼルハンマ、ホイールローダ(4m³以上)、被けん引式スクレーパ、ズリ積機、泥水処理装置、コンクリートプラント(0・75m³以上)などについては、工事の進捗により、一時的な依存度の大きな増加が見られた。なお、本調査の数値はあくまでも調査対象会社の調査日(11月30日)における稼働実態によるものであり、この結果がわが国のリース・レンタル機械依存度を表すものでないことをご理解いただきたい。以上

- 参考資料
 資料第1 社外機械使用実態調査・構成比率一覧表
 資料第2 社外機械使用実態調査順位推移表(建設業者のリース依存度)
 資料第3 社外機械使用実態調査順位推移表(調査会社のリース依存度)
 資料第4 社外機械使用実態調査順位推移表(協力会社のリース依存度)

社外機械使用実態調査順位推移表

① 建設業者のリース依存度 (B+D/E)

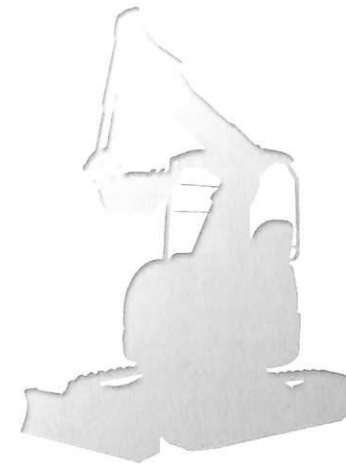
資料第2 (単位: %)

対象機械品目	仕様	15年度		14年度		13年度		12年度		
		順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	
52	ディーゼルハンマ	全機種	1	100.0	35	43.3	17	58.3	43	38.1
29-1	泥水処理装置	全機種	2	79.0	16	61.1	13	65.2	15	66.8
18	ズリ鋼車	側開転倒式 1~6m³	3	78.4	11	71.7	7	72.5	23	56.5
12	ホイローダ	山積 4m³以上	4	75.9	42	38.1	49	28.2	54	25.0
29-2	濁水処理装置	全機種	5	75.3	10	72.1	12	65.3	4	81.8
27-2	門型クレーン	3t以上	6	73.2	7	74.4	13	65.2	6	75.0
28	フォークリフト	全機種	7	70.2	8	72.7	6	76.2	7	74.8
40	空気圧縮機	ポータブル式・全機種 (除ベビコン)	8	68.2	13	67.4	9	68.0	17	64.4
39	空気圧縮機	定置式 全機種	9	66.1	9	72.3	11	67.3	13	68.7
35	コンクリートプラント	全自動・強制練型 0.75m³以上	10	65.6	26	52.9	28	51.1	14	66.9
27-1	門型クレーン	3t未満	11	64.7	19	59.1	22	53.8	19	62.3
34	転圧ローラ	自走式 全機種	12	60.7	21	57.2	16	59.4	21	61.0
13-2	ズリ積機	クローラ式 バックホウ型	13	59.9	40	40.5	41	34.8	29	48.6
16	機関車	バッテリー式 全機種	14	59.6	22	56.7	18	57.5	33	44.7
11	ホイローダ	山積 4m³未満	15	56.4	12	68.5	8	71.1	10	70.1
23	タワークレーン	水平型 油圧クライミング全機種	16	55.9	15	63.5	33	48.1	51	31.6
38	A.フィニッシャ	全機種	17	52.9	36	43.0	20	55.3	36	42.3
32	軟岩トンネル掘進機	全機種	18	52.8	20	58.5	23	53.4	11	70.0
26	工事用エレベータ	ロングスパン 全機種	19	52.0	28	51.0	25	51.4	28	49.9
7	油圧ショベル	山積 1m³未満	20	51.6	29	49.7	32	48.8	34	44.4
30	トンネル用ドリルジャンボ	全機種	21	50.9	18	59.8	30	49.2	8	72.8
20	トラッククレーン	ラフテレンクレーンを含む全機種	22	50.8	24	56.4	19	55.4	22	57.0
13-1	ズリ積機	0.17m³以上 (No.13-2を除く)	23	50.0	27	51.9	24	51.9	9	72.0
22	タワークレーン	起伏式 ワイヤクライミング	24	49.3	14	64.5	15	63.8	25	54.1
9	トラクタショベル	山積 2m³未満	24	49.3	22	56.7	27	51.2	26	53.4
33	モータグレーダ	全機種	26	47.2	31	47.2	29	50.9	37	41.5
19	クローラクレーン	全機種	27	46.3	30	49.0	26	51.3	27	50.0
44	コンクリート吹付機	全機種	28	46.0	17	60.4	21	54.7	18	63.1
42	キュービクル式高圧受変電設備	全機種	29	45.7	41	38.2	39	35.9	44	36.3
45	ケーブルクレーン	吊荷重 3t以上	29	45.7	33	46.2	40	35.7	16	65.5
1	ブルドーザ	普通 全機種	31	44.9	38	42.1	37	40.5	50	31.9
25-1	工事用エレベータ	普通型 全機種	32	44.6	32	46.8	35	42.8	24	56.3
37	コンクリートポンプ	定置式 10m³/hr以上	33	42.3	37	42.4	30	49.2	30	48.3
25-2	工事用エレベータ	高速型 全機種	34	41.2	39	41.0	36	41.9	47	35.1
14-2	重ダンプトラック	32t積未満	35	40.1	46	36.5	38	38.9	31	47.5
6	M.スクレーバ	全機種	36	40.0	43	37.5	51	26.3	54	25.0
21-1	タワークレーン	起伏式 油圧クライミング120t×m未満	37	39.2	49	35.1	47	29.9	38	41.1
24	ジブクレーン	全機種	38	38.2	34	43.6	45	32.7	41	39.5
14-1	ダンプトラック	11t積未満	39	37.6	47	35.8	43	33.7	42	38.4
4	ブルドーザ	湿地 全機種	40	37.5	45	36.6	42	33.9	46	35.6
5	被けん引式スクレーバ	全機種	41	32.6	62	8.5	56	18.5	58	18.5
8	油圧ショベル	山積 1m³以上	42	31.1	44	36.7	44	32.9	49	34.0
53	パイプロハンマ	全機種	43	30.3	51	29.9	57	17.3	32	45.4
10	トラクタショベル	山積 2m³以上	44	29.7	25	56.1	34	43.2	35	43.6
47	コーンクラッシャ	油圧式 マントル径600mm以上	45	29.2	50	34.5	60	14.3	54	25.0
46	ジョークラッシャ	供給口 600×900mm以上	46	27.8	53	25.0	54	23.3	48	35.0
48	ロッドミル	φ900×2,400mm以上	47	22.2	3	89.0	10	67.6	20	61.3
54	油圧ハンマ	全機種	48	21.7	55	21.1	53	23.9	45	35.7
31	クローラドリル	全機種	49	17.3	48	35.6	45	32.7	39	40.0

資料第1 (単位: %)

対象機械品目	仕様	建設業者 (調査会社と協力業者) のリース依存度 B+D/E	調査会社のリース依存度 B/A+B	協力業者のリース依存度 D/C+D	
44	コンクリート吹付機	全機種	46.0	50.3	38.7
45	ケーブルクレーン	吊荷重 3t以上	45.7	42.4	100.0
46	ジョークラッシャ	供給口 600×900mm以上	27.8	42.9	6.7
47	コーンクラッシャ	油圧式 マントル径600mm以上	29.2	58.3	0.0
48	ロッドミル	φ900×2,400mm以上	22.2	100.0	0.0
52	ディーゼルハンマ	全機種	100.0	—	100.0
53	パイプロハンマ	全機種	30.3	90.0	26.9
54	油圧ハンマ	全機種	21.7	100.0	16.3
55	クローラ式アースオーガ	全機種	13.7	25.0	13.5
56	オールケーシング掘削機	全機種	10.0	—	10.0
57	地下連続壁掘削機	全機種	8.9	0.0	10.5
平 均			48.1	67.2	38.3

(注) アルファベットは、A=自社保有機械、B=自社のリース・レンタル機械、C=協力会社の自社持ち機械、D=協力会社のリース・レンタル機械、E=A+B+C+Dを示す。
 なお、E (総合計台数) は、36,115台であった。



資料第3 (単位:%)

	対象機械品目	仕様	15年度		14年度		13年度		12年度	
			順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
14-2	重ダンプトラック	32t積未満	35	55.5	43	55.6	37	59.5	25	80.7
26	工事用エレベータ	ロングスパン 全機種	36	54.6	46	51.5	42	53.5	48	51.9
22	タワークレーン	起伏式 ワイヤクライミング	37	53.2	32	72.5	31	69.1	46	53.3
38	A.フィニッシャ	全機種	37	53.2	50	46.3	39	55.9	53	40.1
33	モータグレーダ	全機種	39	52.5	45	52.3	40	55.7	44	55.0
23	タワークレーン	水平型 油圧クライミング全機種	40	51.7	38	64.4	46	50.0	55	35.6
44	コンクリート吹付機	全機種	41	50.3	37	65.7	38	58.3	31	76.6
3	ブルドーザ	リッパ付 45t以上	42	50.0	54	40.0	57	25.0	-	-
30	トンネル用ドリルジャンボ	全機種	43	49.7	41	60.3	44	51.8	33	75.4
25-1	工事用エレベータ	普通型 全機種	44	48.0	49	47.2	48	44.6	42	58.3
42	キュービクル式高圧受変電設備	全機種	45	45.8	55	37.3	51	37.2	54	35.8
21-1	タワークレーン	起伏式 油圧クライミング120tXm未満	46	43.8	56	34.7	56	28.3	52	40.8
46	ジョークラッシャ	供給口 600X900mm以上	47	42.9	58	26.0	53	30.8	20	84.6
45	ケーブルクレーン	吊荷重 3t以上	48	42.4	52	41.4	50	43.5	39	65.4
25-2	工事用エレベータ	高速型 全機種	49	41.5	53	40.4	49	44.5	56	35.4
24	ジブクレーン	全機種	50	37.4	51	43.4	52	33.5	57	34.7
55	クローラ式アースオーガ	全機種	51	25.0	48	50.0	14	87.5	49	50.0
36	コンクリートプラント	全自動・傾胴型 0.75m³X2以上	52	21.1	57	27.8	55	29.2	49	50.0
21-2	タワークレーン	起伏式 油圧クライミング120tXm以上	53	14.4	59	19.9	59	24.9	58	24.5
5	被けん引式スクレーバ	全機種	54	0.0	-	-	1	100.0	1	100.0
57	地下連続壁掘削機	全機種	54	0.0	60	3.1	60	0.0	59	2.3
52	ディーゼルハンマ	全機種	-	-	17	83.3	1	100.0	1	100.0
56	オールケーシング掘削機	全機種	-	-	17	83.3	-	-	60	0.0
41	ファン	40m³/min以上	-	-	26	81.9	24	79.1	35	73.0
43	ディーゼル発電機	全機種	-	-	6	94.4	8	97.9	11	96.9
49	高所作業車	室内用 バッテリー自走式	-	-	3	98.3	7	98.9	10	97.4
50	高所作業車	作業床高10m未満 (No.49を除く)	-	-	2	99.1	6	99.4	9	97.7
51	高所作業車	作業床高10m以上	-	-	9	89.3	10	90.8	14	94.1
平 均			67.2		73.3		76.1		74.4	

③ 協力業者のリース依存度 (D/C+D)

資料第4 (単位:%)

	対象機械品目	仕様	15年度		14年度		13年度		12年度	
			順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
45	ケーブルクレーン	吊荷重 3t以上	1	100.0	10	60.0	61	0.0	6	66.7
52	ディーゼルハンマ	全機種	1	100.0	38	33.3	14	52.4	42	31.6
23	タワークレーン	水平型 油圧クライミング全機種	3	80.0	20	50.0	31	33.3	46	28.0
29-2	濁水処理装置	全機種	4	57.8	15	54.9	11	54.9	15	54.1
34	転圧ローラ	自走式 全機種	4	57.8	15	54.9	11	54.9	15	54.1
16	機関車	バッテリー式 全機種	6	57.6	4	83.3	3	73.1	24	47.8
39	空気圧縮機	定置式 全機種	7	57.0	7	68.4	8	58.1	11	61.4
40	空気圧縮機	ポータブル式・全機種 (除ベビコン)	8	56.2	13	56.7	10	56.3	17	53.0
27-1	門型クレーン	3t未満	9	54.9	11	57.4	24	40.4	7	65.2
30	トンネル用ドリルジャンボ	全機種	9	54.9	11	57.4	24	40.4	7	65.2
38	A.フィニッシャ	全機種	11	51.7	43	31.1	15	51.7	23	48.0
13-2	ズリ積機	クローラ式 バックホウ型	12	49.0	32	36.3	37	31.0	26	45.5
18	ズリ鋼車	側開転倒式 1~6m³	13	48.0	24	44.2	13	53.8	30	41.8
24	ジブクレーン	全機種	14	46.2	22	46.2	51	23.5	4	72.0
28	フォークリフト	全機種	15	45.7	21	48.1	17	50.9	18	50.7
7	油圧ショベル	山積 1m³未満	16	45.4	24	44.2	22	42.6	31	40.7
42	キュービクル式高圧受変電設備	全機種	17	45.0	19	51.2	45	25.0	28	43.3
9	トラクタショベル	山積 2m³以上	18	44.8	18	51.3	20	45.7	25	46.7
13-1	ズリ積機	0.17m³以上 (No.13-2を除く)	19	43.1	28	41.3	19	46.8	5	66.9

資料第2 (単位:%)

	対象機械品目	仕様	15年度		14年度		13年度		12年度	
			順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
15	重ダンプトラック	32t積以上	50	17.0	56	21.0	61	14.2	57	23.2
36	コンクリートプラント	全自動・傾胴型 0.75m³X2以上	51	16.0	54	25.0	50	27.5	39	40.0
2	ブルドーザ	リッパ付 45t未満	51	16.0	58	17.2	55	21.1	61	14.8
21-2	タワークレーン	起伏式 油圧クライミング120tXm以上	53	14.5	57	19.6	52	24.6	53	25.5
55	クローラ式アースオーガ	全機種	54	13.7	59	15.2	48	29.7	52	25.6
3	ブルドーザ	リッパ付 45t以上	55	13.4	60	12.8	58	17.2	60	16.2
56	オールケーシング掘削機	全機種	56	10.0	52	27.2	61	14.2	59	17.1
57	地下連続壁掘削機	全機種	57	8.9	61	8.9	59	14.9	62	11.5
41	ファン	40m³/min以上	-	-	5	80.5	5	77.9	12	69.7
43	ディーゼル発電機	全機種	-	-	6	77.7	4	78.9	5	75.9
49	高所作業車	室内用 バッテリー自走式	-	-	1	93.7	1	94.0	2	89.7
50	高所作業車	作業床高10m未満 (No.49を除く)	-	-	2	92.9	2	92.2	1	91.5
51	高所作業車	作業床高10m以上	-	-	4	81.9	3	85.1	3	86.6
平 均			48.1		55.6		55.5		54.3	

② 調査会社のリース依存度 (B/A+B)

資料第3 (単位:%)

	対象機械品目	仕様	15年度		14年度		13年度		12年度	
			順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
2	ブルドーザ	リッパ付 45t未満	1	100.0	17	83.3	57	25.0	1	100.0
6	M.スクレーバ	全機種	1	100.0	1	100.0	1	100.0	-	-
48	ロッドミル	φ900X2,400mm以上	1	100.0	10	87.5	1	100.0	30	77.8
54	油圧ハンマ	全機種	1	100.0	-	-	-	-	1	100.0
8	油圧ショベル	山積 1m³以上	5	97.9	5	95.7	15	87.1	45	53.7
20	トラッククレーン	ラフテレンクレーンを含む全機種	6	97.4	4	97.5	9	95.6	11	96.9
13-2	ズリ積機	クローラ式 バックホウ型	7	93.9	22	82.6	25	75.0	26	80.0
40	空気圧縮機	ポータブル式・全機種 (除ベビコン)	8	92.9	16	83.5	12	90.1	15	93.0
7	油圧ショベル	山積 1m³未満	9	92.0	11	86.7	11	90.4	22	83.8
53	パイプロハンマ	全機種	10	90.0	30	75.0	1	100.0	43	57.1
1	ブルドーザ	普通 全機種	11	89.7	21	82.8	20	84.7	47	53.1
19	クローラクレーン	全機種	12	89.2	20	82.9	18	85.7	21	84.5
29-1	泥水処理装置	全機種	13	88.9	33	67.4	29	72.4	24	81.1
28	フォークリフト	全機種	14	88.7	7	92.0	13	87.6	17	91.8
14-1	ダンプトラック	11t積未満	15	87.1	14	84.4	21	84.0	38	68.1
18	ズリ鋼車	側開転倒式 1~6m³	16	85.9	22	82.6	22	81.1	40	60.4
4	ブルドーザ	湿地 全機種	17	85.7	12	85.7	25	75.0	41	60.0
37	コンクリートポンプ	定置式 10m³/hr以上	18	84.4	13	85.0	16	86.7	13	95.3
12	ホイールローダ	山積 4m³以上	19	84.2	28	76.5	32	66.7	1	100.0
39	空気圧縮機	定置式 全機種	20	80.7	27	79.2	23	79.6	28	79.1
11	ホイールローダ	山積 4m³未満	21	79.1	15	83.7	17	86.2	18	91.2
35	コンクリートプラント	全自動・強制練型 0.75m³以上	21	79.1	40	61.4	45	51.0	34	74.3
29-2	濁水処理装置	全機種	23	78.3	29	75.9	30	69.7	19	84.7
27-2	門型クレーン	3t以上	24	77.4	25	82.0	32	66.7	29	78.6
27-1	門型クレーン	3t未満	25	77.1	34	66.8	35	62.8	37	69.4
9	トラクタショベル	山積 2m³未満	26	75.9	8	89.5	18	85.7	23	83.3
13-1	ズリ積機	0.17m³以上 (No.13-2を除く)	27	73.3	35	66.7	34	65.5	1	100.0
31	クローラドリル	全機種	28	71.4	24	82.4	28	72.7	16	92.9
10	トラクタショベル	山積 2m³以上	29	66.7	44	55.6	25	75.0	1	100.0
15	重ダンプトラック	32t積以上	29	66.7	31	74.2	54	30.0	1	100.0
32	軟岩トンネル掘進機	全機種	29	66.7	35	66.7	43	51.9	32	76.0
34	転圧ローラ	自走式 全機種	32	62.6	42	58.7	36	62.2	36	71.5
16	機関車	バッテリー式 全機種	33	59.9	47	51.2	41	53.8	51	44.1
47	コーンクラッシャ	油圧式 マントル径600mm以上	34	58.3	39	61.5	46	50.0	26	80.0

	対象機械品目	仕 様	15年度		14年度		13年度		12年度	
			順位	%	順位	%	順位	%	順位	%
11	ホイルローダ	山積 4m³未満	20	42.8	23	45.8	21	45.1	12	55.8
44	コンクリート吹付機	全機種	21	38.7	17	51.6	18	50.0	20	49.2
6	M.スクレーパ	全機種	22	38.6	37	34.6	44	25.3	49	25.0
12	ホイルローダ	山積 4m³以上	23	36.4	45	28.4	45	25.0	57	17.0
4	ブルドーザ	湿地 全機種	24	35.7	34	35.7	34	32.6	34	34.9
1	ブルドーザ	普通 全機種	25	35.4	36	34.7	30	33.4	44	30.7
29-1	泥水処理装置	全機種	26	35.1	30	36.5	26	40.1	47	27.8
33	モータグレーダ	全機種	26	35.1	30	36.5	26	40.1	47	27.8
14-1	ダンプトラック	11t積未満	28	34.0	41	32.9	36	31.5	33	37.3
5	被けん引式スクレーパ	全機種	29	33.3	61	8.5	55	17.6	55	17.8
25-2	工用エレベータ	高速型 全機種	29	33.3	1	100.0	45	25.0	62	0.0
35	コンクリートプラント	全自動・強制練型 0.75m³以上	29	33.3	38	33.3	16	51.3	21	48.9
20	トラッククレーン	ラフテレンクレーンを含む全機種	32	32.4	33	36.0	35	32.5	32	37.7
26	工用エレベータ	ロングスパン 全機種	33	31.6	26	43.9	29	34.6	35	34.1
14-2	重ダンプトラック	32t積未満	34	30.3	48	23.1	42	27.7	52	24.6
8	油圧ショベル	山積 1m³以上	35	28.0	42	32.5	38	30.1	40	32.8
53	パイプロハンマ	全機種	36	26.9	44	28.7	58	16.0	27	44.9
37	コンクリートポンプ	定置式 10m³/hr以上	37	26.8	46	27.2	45	25.0	41	32.5
19	クローラクレーン	全機種	38	26.7	40	33.1	33	32.9	43	30.9
10	トラクタショベル	山積 2m³以上	39	25.9	14	56.3	28	35.4	38	34.0
22	タワークレーン	起伏式 ワイヤクライミング	40	22.2	55	15.4	31	33.3	9	63.6
21-1	タワークレーン	起伏式 油圧クライミング120tXm未満	41	17.6	29	38.2	23	40.5	29	42.9
21-2	タワークレーン	起伏式 油圧クライミング120tXm以上	42	16.7	62	0.0	54	18.8	19	50.0
54	油圧ハンマ	全機種	43	16.3	53	21.1	50	23.9	45	29.4
25-1	工用エレベータ	普通型 全機種	44	15.0	27	42.1	43	25.9	39	33.3
32	軟岩トンネル掘進機	全機種	45	14.3	34	35.7	9	57.9	13	55.0
15	重ダンプトラック	32t積 以上	46	14.2	60	10.5	60	13.2	53	19.9
27-2	門型クレーン	3t以上	47	13.6	51	21.4	40	28.1	35	34.1
31	クローラドリル	全機種	47	13.6	51	21.4	40	28.1	35	34.1
55	クローラ式アースオーガ	全機種	49	13.5	56	14.0	39	28.5	51	24.7
2	ブルドーザ	リップ付 45t未満	50	12.9	54	15.7	53	21.0	59	12.6
3	ブルドーザ	リップ付 45t以上	51	12.3	59	11.9	57	17.0	58	16.2
57	地下連続壁掘削機	全機種	52	10.5	57	12.8	52	23.0	54	18.3
56	オールケーシング掘削機	全機種	53	10.0	47	23.3	59	14.2	56	17.3
46	ジョークラッシャ	供給口 600×900mm以上	54	6.7	49	22.2	55	17.6	60	11.1
36	コンクリートプラント	全自動・傾胴型 0.75m³×2以上	55	0.0	49	22.2	45	25.0	49	25.0
47	コーンクラッシャ	油圧式 マントル径600mm以上	55	0.0	58	12.5	61	0.0	61	3.8
48	ロッドミル	φ900×2,400mm以上	55	0.0	2	89.2	7	62.1	14	54.5
41	ファン	40m³/min以上			8	66.4	4	68.9	22	48.5
43	ディーゼル発電機	全機種			6	69.1	6	66.6	10	63.3
49	高所作業車	室内用 バッテリー自走式			3	86.1	1	84.5	2	76.0
50	高所作業車	作業床高10m未満 (No.49を除く)			5	79.1	2	73.8	1	76.9
51	高所作業車	作業床高10m以上			9	62.8	5	68.6	3	72.6
	平 均			38.3		44.0		42.0		43.1

後藤 泰治 副会長
石塚 幸司 参与
国土交通大臣表彰



向かって右より後藤 泰治殿、石塚 幸司殿

平成十六年度建設事業関連功労者等国土交通大臣表彰が、当協会副会長の後藤泰治殿、当協会参与の石塚幸司殿に、建設事業関係功労者（多年建設機械業に精励するとともに関係団体の役員として業界の発展に寄与）として、平成十六年七月十二日日付けをもって、表彰されました。

LETTERS FROM THE BRANCH

支 部 だ よ り

■京都支部

他府県から比べますと京都には独自の商慣習が有ります、そして独自の文化が有り、古都千年の伝統が少し路地に足を踏み入れると至るところに見受けられます。

しかし京都は保守的かといえはそうでは有りません、電子部品の製造に関しては世界のシェアを制する著名な企業が沢山あります。京セラ・ローム・ムラタ・京都電産・オムロン・任天堂等々が有ります。これらは全て世界市場を相手に戦っています。

何故京都にこのような企業が・・・と思われるかもしれませんが、京都には清水焼による陶器、仏壇仏具の金箔や他の金属の加工技術が昔から発達してきました。

もうお気づきかもしれませんが陶器は不良導体(電気を通さない)金箔は良導体なのです。これらのノウハウが生かされ製品となり世

界に出荷されているのです。このように京都の伝統工芸の技術は現代の企業にも生かされています。

千年の玉城の地で有ったと言うことは、外敵から身を守るのに最適な地であったこと、裏を返せば外に對して閉ざされた地形で有るといふ事です。従って付加価値の高い企業しか生き残ることの出来ない地形なのです。しかも建築基準において京都は、日本一規制の厳しい地域です。いたるところに風致地区が存在し、少ない建ぺい率の規制や土地の下には沢山の重要文化財が眠っていて、建築には大変な制約があり独特の創意工夫が必要とされます。

又、昔間口一間に對して税金を取った為、京の町家は鰻の寝床といわれる程間口が狭く奥に長い独特の構造の為、建築の際の近隣対策等、開発行為においては大変な負担が伴います。これらの諸事情をもって独自の文化に調和すべく建築業界も対応していますが、長年の不況とあいまって私共の業界

も苦戦を強いられています。京都独自の良さをどうと會員の協議会や研修会を催し、又會員相互のリース資産の情報化及びIT化に取り組みべき事前調査及び研究に取り組んでいます。

京都の持つ独特の文化と伝統の中で我々協会のさらなる発展と會員相互の親睦を計り広域レンタル業者対策等、問題は山積しておりますが、斯様な経済状況の中で最善を尽くすべく奮闘しております。とは言え、京都は四季折々の催事や社寺仏閣が私共の心を癒してくれます。

加茂川の流れ、祇園祭、大文字(五山の送り火)鞍馬の火祭、葵祭、等々。協会の事務局も今注目の新撰組の壬生の屯所の旧八木邸の近くに有りますので近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。

京都建設機械リース業協会

会長 石橋久仁夫

平成15・16年度委員会活動報告

(平成15年6月12日～平成16年10月27日)

協会本部の各委員会の活動内容を議事録に基づき、議題を中心に簡略的にまとめたものです。年間一回掲載いたします。

第77回理事会

日 時 平成15年10月23日(木) 13:00～16:00
場 所 池之端文化センター 1階 鳳凰の間

【報告事項】

- 1、賛助会員制度について
8月下旬、メーカー43社・商社20社に入会の募集を行ったことが報告された。
- 2、辞任に伴う役員選任の件
勤務先会社の人事異動により、関 睦夫理事の後任に、田子智久氏を推薦することが了承された。
- 3、従たる事務所の所在地変更について
従たる事務所 住所表示

東京 東京都千代田区神田北乗物11番地
イザキビル4階
神奈川 神奈川県横浜市神奈川区栄町2-1-10
アール・ケーブラザIII 1103
中国 広島県広島市西区古江新町7-10

第78回理事会

日 時 平成16年5月27日(木) 13:00～14:30
場 所 池之端文化センター 1階 鳳凰の間

- 8、可発委員会 後藤常任理事
(1) 平成15年度講習会・試験結果について
(2) 平成15年度資格更新講習会アンケート(計測器・試験器)結果について
(3) 平成16年度認定試験問題変更について
平成16年度講習会より、現在の○×方式から三者択一にすることが報告された。
- 9、その他
・平成15年度、「特定サービス産業実態調査」実施に伴う協力の依頼について

- 4、平成15年度上期入退会者について
入会数12社、退会数16社。
- 5、平成16年度年間事業スケジュール(案)について
6、総務委員会
(1) 組織拡大・会員増強関係 角口常任理事
(2) 企画調査・広報関係 楠山常任理事
CONNECT2003 出展について、報告が行われた。
- (3) 新教育制度について 榑原副会長
- 7、流通委員会 末田副会長
(1) 大手広域レンタル業者等との懇談会経緯について
(2) お願い文について

【決議事項】

- 1、第31回定期総会議案書について
 - (1) 第1号議案 平成15年度事業報告承認の件
 - (2) 第2号議案 平成15年度収支決算報告書承認の件
 - (3) 第3号議案 任期満了に伴う役員改選の件
 - (4) 第4号議案 平成16年度事業計画(案)に関する件
 - (5) 第5号議案 平成16年度収支予算(案)に関する件
 - (6) 第6号議案 定款変更に伴う諸基準等に関する件
- ① 支部規程の一部変更について
- ② 公益法人の業務及び財産状況等の定期検査の指摘に伴う規程作成について
- 2、社団法人設立30周年記念祝賀会について

平成16年10月27日(木)、第79回理事会終了後にキャピトル東急ホテルにて祝賀会を実施する予定(式典は執り行わない)であることが事務局より説明され、了承された。
- 3、可搬形整備技術者講習会制度に関する規程の一部変更について

可搬形整備技術者講習会制度に関する規程の一部変更(第7条の一部)「企業認定証」を削除することが承認された。
- 4、平成15年度入退会者について

正会員入会数20社、賛助会員入会数17社、退会数46社

【報告事項】

- 5、委員会報告
 - (1) 運営委員会 荒井会長

賛助会員との交流を深めるため、総会後の懇親会、流通委員会(大手広域レンタル業者、地場大手レンタル業者等との懇談会)後の懇親会に招待する。
 - (2) 総務委員会 榎原委員長

① 管理者教育講習会について

【報告事項】

- 2、平成16年度上期入退会者について

正会員入会数21社、賛助会員入会数7社、正会員退会数23社が承認された。
- 3、会員等功績者表彰規定細則が報告され承認された。

委員会報告

- 4、運営委員会 荒井会長

・平成17年度年間事業スケジュール(案)について
平成17年度年間スケジュールが了承され、また、本部賛助会員24社にも送付し、各社の全国会議や展示会等と日程が重ならないようにしてもらうこととなった。
- 5、総務委員会 榎原副会長
 - ① 管理者教育講習会実施状況について
 - ② 「2004年版会員名簿」発行について
 - ③ 「かいほうNo.60(社団法人設立30周年記念特集号)」について
- 6、流通委員会 末田副会長
 - ① 大手広域レンタル業者等との懇談会経緯について
 - ② 全建リース総合賠償制度支部別加入状況について
- 7、可発委員会 後藤副会長
 - ① 平成16年度新規講習会・試験及び更新講習結果について
 - ② 計測器・試験器の保有及び使用状況について
(平成16年度資格更新講習会アンケート結果より)
- 8、社団法人設立30周年記念祝賀会の進行について

第79回理事会

日 時 平成16年10月27日(木) 14:30~15:30
場 所 キャピトル東急ホテル 地下2階 竹の間

議 事

【決議事項】

- 1、定款第46条(暫定予算)について

定款の第10章「資産及び会計」の第45条(事業計画及び予算)に「毎事業年度開始前に事業計画及び予算に関する書類を作成する」とあるが、協会の事業年度が4月1日~3月31日、総会は5月末開催であり事実上無理なことから、第46条(暫定予算)に「やむをえない理由により事業年度開始前に予算が成立しないときは、会長は理事会の議決を経て予算成立の日まで前事業年度の予算に準じて収入及び支出をすることが出来る」と規定がある。平成17年度より、必ず秋の理事会で決議事項として取り上げ、「暫定予算として次年度予算の成立日まで前事業年度の予算に準じて収支を行う」とこととすることが承認された。

9、その他

・平成16年度「特定サービス産業実態調査」実施に伴う協力の依頼について

第31回定期総会

日 時 平成16年5月27日(木) 15:00~16:30
場 所 池之端文化センター 2階 楓の間

議 事

- 第1号議案 平成15年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成15年度収支決算書承認の件
会計監査報告
- 第3号議案 任期満了に伴う役員選任の件
- 第4号議案 平成16年度事業計画(案)に関する件
- 第5号議案 平成16年度収支予算(案)に関する件
- 第6号議案 定款変更に伴う諸基準等に関する件
- 第1号議案(第6号議案)について審議が行われ、承認可決された。

運営委員会

日 時 平成15年6月12日(木) 13:30~16:00
場 所 山東ビル 10階 会議室

議 題

- 1、定款の一部変更の今後の進め方について
 - 2、流通委員会の運営について
 - 3、新教育制度実施について
 - 4、山形支部について
- 山形支部が支部の総会において定款変更を行い、事務局長が

- 支部長（参与）を兼任することとなったことが報告された。
- 5、第30回定期総会議案書に関する質問事項について
- 6、(社)建設産業専門団体連合会脱退について

運営委員会

日時 平成15年8月21日(木) 12:00~13:30
場所 山東ビル 10階 会議室

議題

- 1、賛助会員入会のご案内の確認について
入会案内を送付する会社（メーカー43社・商社20社）が確認された。
- 2、「定」の廃止について、及び建設業者の皆様へのお願い文について
なお、独占禁止法に違反となるおそれのある部分は次のとおりである。
- ①「貸貸料金の原則として現金取引とする」文言は、現金取引以外を規制するものと解釈される。
- ②「貸貸日より返済日までの計算として使用料を申し受ける」とする文言は、算定方法を決めることとなり問題となる。
- ③「運賃、燃料等は別途申し受ける」とする文言は「一括有償を強制することとなる。
- ④上記3点を「定」として規約化し、協会が決めることは禁止事項にあたる。

議題

- 1、報告事項（運営委員会の決議事項）
(1) 賛助会員入会のご案内の確認について
(2) 「定」の廃止について、及び建設業者の皆様へのお願い文について
- 2、新教育制度について（パワーポイントによる試写）
冒頭、新教育制度検討委員会委員長 東京経済大学教授 一瀬 益夫殿より、試写にいたった経過報告が行われた

運営委員会

日時 平成15年10月23日(木) 12:00~13:00
場所 池之端文化センター 地下1階 桜の間

議題

- 1、賛助会員入会のご案内の確認について
- 2、辞任に伴う役員選任の件
勤務先会社の人事異動により、岡 睦夫理事の後任に、田子 智久氏を推薦することが了承された。
- 3、従たる事務所所在地変更について
従たる事務所 住居表示
東京 東京都千代田区神田北乗物11番地
イザキビル4階
神奈川 神奈川県横浜市神奈川区栄町2-1-10
アール・ケープラザIII1103
中国 広島県広島市西区古江新町7-1-10
- 4、平成15年度上期入退会者について
- 5、社団法人設立30周年について
- 6、非常勤講師の設置について

運営委員会・総務委員会合同会議

日時 平成15年8月21日(木) 13:30~16:30
場所 山東ビル 10階 会議室

運営委員会

日時 平成15年11月14日(金) 13:00~13:30
場所 山東ビル 10階 会議室

議題

- 1、平成16~17年度 役員(案) について

総務委員会・運営委員会合同会議

日時 平成15年11月14日(金) 13:30~16:30
場所 山東ビル 10階 会議室

議題

- (1) 建設機械器具レンタル業管理者教育講習会実施について
- (2) 社団法人設立30周年について
- (3) インターネット・ホームページの会員照会について
- (4) 賛助会員名簿を、ホームページに掲載することについて
- (5) ISO認証登録普及について
- (6) 全建リース総合賠償保険制度の会員への普及促進について

運営委員会

日時 平成16年3月3日(木) 16:00~18:00
場所 山東ビル 10階 会議室

議題

- 1、平成16年度事業計画について
- ①会員入会促進活動を図る
- ②本部賛助会員入会促進活動を図る

総務委員会・運営委員会合同会議

日時 平成16年3月4日(木) 10:00~14:00
場所 山東ビル 10階 会議室

議題

- 1、運営委員会（平成16年3月3日開催）の報告事項について

運営委員会

日 時 平成16年5月27日(木) 12:00~13:00
場 所 池之端文化センター 5階 曙の間

議 題

- 1、「2004年版会員名簿」協会会員の広告掲載について
①「かいほう」「会員名簿」等、協会発行の機関誌については、広告内容は機械の販売に限る(レンタルについての宣伝は不可)
- 2、社団法人設立30周年記念祝賀会について

運営委員会

日 時 平成16年6月8日(火) 14:30~17:00
場 所 キャピトル東急ホテル 2階 ことぶきの間

議 題

- 1、平成16年度協会運営について
- 2、委員会委員長の選任について
- 3、協会刊行物への広告掲載基準について
- 4、建設機械展示会について(開催地 上海)
- 5、全建リース総合賠償保険制度について

運営委員会・総務委員会合同会議

日 時 平成16年8月26日(木) 13:30~16:00
場 所 山の上ホテル 本館2階 つつじの間

議 題

- 1、第79回理事会次第(案)について
- 2、社団法人設立30周年記念祝賀会について
- 3、「2004年版」会員名簿について

流通専門委員会

日 時 平成16年3月3日(水) 13:00~15:00
場 所 山東ビル 10階 会議室

議 題

- 1、平成15年度流通専門委員会開催の実績について
- 2、平成16年度流通専門委員会年間事業スケジュールについて
- 3、各地区の活動報告について

流通専門委員会と大手広域レンタル業者、並びに建機メーカーレンタル事業担当責任者との懇談会

日 時 平成16年4月22日(木) 13:00~16:00
場 所 山の上ホテル 本館2階 つつじの間

議 題

- 1、建設機械レンタル業界のルールについて

流通委員会と大手広域レンタル業者、地場大手レンタル業者、大手建機メーカー、汎用機メーカーとの懇談会

日 時 平成16年9月7日(火) 13:00~16:00
場 所 キャピトル東急ホテル 竹園・竹生の間

議 題

- 1、地域、各社の現状について

可発専門委員会

日 時 平成15年8月8日(金) 13:00~15:30
場 所 山東ビル 10階 会議室

- 4、会員等功績者表彰規定細則(案)について
- 5、平成17年度年間スケジュール(案)について
- 6、賛助会員入会状況について
- 7、盗難防止に関する提案(神奈川支部)について
- 8、全建リース総合賠償制度について

流通委員会と大手広域レンタル業者、地場大手レンタル業者、大手建機メーカー、汎用機メーカーとの懇談会

日 時 平成15年9月17日(水) 13:00~16:00
場 所 池之端文化センター 3階 末廣の間

議 題

- 1、地域の現状やメーカーからの要望について
- 2、「建設業者の皆様へのお願い」文について
- 3、建設機械の排出ガス対策について

流通委員会専門委員会と大手広域レンタル業者との懇談会

日 時 平成15年12月3日(水) 15:00~17:00
場 所 山の上ホテル 本館2階 つばきの間

議 題

- 1、「建設業者の皆様へのお願い」文について
- 2、過大広告について
- 3、盗難問題について
- 4、業界の現状と対応について

議 題

- (1) 平成15年度講習会実施結果について
- (2) 平成16年度講習会スケジュール(案)について
- (3) 資格更新延期願の取り扱いについて
- (4) 平成16年度定期点検済証票普及用ポスター作成について
- (5) 確認事項
①定期点検済証票取り扱いについて
②定期点検済証票管理要領について

可発専門委員会

日 時 平成15年10月9日(木) 13:30~15:30
場 所 山の上ホテル 本館2階 つつじの間

議 題

- 1、平成15年度合格者の登録状況について
- 2、平成16年度用「定期点検済証票」(ステッカー)作成について
- 3、平成16年度用「定期点検済証票」普及ポスター作成について
- 4、平成15年度更新講習会アンケート(協会に対するご要望)について
- 5、平成16年度認定試験問題変更について
①出題形式を○×形式より、者択へ変更する。
②出題数は現行の30問とする。

可発専門委員会・講師会

日時 平成15年10月9日(木) 15:30～16:30
場所 山の上ホテル 本館2階 つつじの間

議題

- 1、平成15年度講習会・試験結果等について
- 2、平成15年度更新講習会アンケート結果について
- 3、平成16年度講習会スケジュールについて
- 4、平成16年度認定試験問題変更について
専門委員会で決定された認定試験の変更事項(○×方式から三者択一方式に変更)について説明が行われた。
- 5、講習会用テキスト作成(新規・更新)について

平成16年度講習会日程表

	更新講習	新規講習
沖縄会場	6月21日(月)	6月22日(火)・23日(水)
九州会場	6月25日(金)	6月23日(水)・24日(木)
中国会場	7月7日(水)	7月8日(木)・9日(金)
大阪会場	7月5日(月)	7月6日(火)・7日(水)
四国会場	7月23日(金)	—
富山会場	7月23日(金)	—
中部会場	7月23日(金)	7月21日(水)・22日(木)
東京会場	8月3日(火)	7月22日(木)・23日(金)
	8月4日(水)	
仙台会場	7月16日(金)	7月14日(水)・15日(木)
北海道会場	7月29日(木)	7月27日(火)・28日(水)

可発専門委員会

日時 平成16年2月6日(金) 13:00～15:30
場所 山東ビル 10階 会議室

議題

- 1、平成16年度講習会募集案内(新規・更新)について
- (1) 平成16年度講習会について
更新講習会案内について
- (2) 平成17・18年度更新講習会について
試験問題作成について
- (3) 平成15年度決算(案)について
特別事業可発資格試験 平成15年度決算(案)について
一般事業(整備事業) 平成15年度決算(案)について
- 3、平成16年度予算(案)について
- 4、定期点検済証票・記録表について
頒布状況について
- (2)(1) 消費税について
平成16年度より、「本則課税適用」となることが報告され、平成16年4月1日以降に、販売するステッカー・記録表については消費税も請求し、帳簿処理は外税(仮受消費税)とすることが了承された。

可発専門委員会

日時 平成16年8月12日(木) 13:00～15:30
場所 山東ビル 10階 会議室

議題

- 1、平成16年度講習会(新規)実施結果について
- 2、平成16年度認定試験結果について
合否の認定は規定に則り厳正に行われたことが報告され、

可発専門委員会

日時 平成16年10月8日(金) 13:30～15:15
場所 山の上ホテル 本館2階 つつじの間

議題

- 1、平成17年度更新講習会について
長期の「更新講習サイクル表」の確認が行われた
- 2、平成17年度用「定期点検済証票」作成について
平成17年度用の定期点検済証票の作成枚数を検討した結果、45,000枚に決定された
- 3、平成18年度用「定期点検済証票」普及ポスター作成について

ブロック代表事務局長会議

日時 平成16年2月20日(金) 12:00～14:45
場所 山の上ホテル 別館 白磁の間

議題

- 1、管理者教育講習会制度について
 - 2、講習科目について
レンタル業の概要・マネージメントI
営業管理I・利益管理・原価管理
営業管理II
安全管理
品質管理
マネージメントII
マネージメントIII
 - 3、講習会開催実施計画等について
 - 4、特別講師について
 - 5、その他
- (1) 建設機械の排出ガス規制について
 - (2) 管理者教育講習会 パワーポイントスライドの説明
 - (3) 消費税法の一部改正について

可発専門委員会・講習会講師との合同会議

日時 平成16年10月8日(金) 15:30～16:30
場所 山の上ホテル 本館2階 つつじの間

議題

- 1、16年度新規講習会・試験結果について
- 2、平成17年度新規講習会について
(1) 講義内容について
(2) 新規講習会の講義時間について
平成17年度新規講習会より「法令」の講義時間を2時間30分より1時間30分に変更することが決定された
- 3、平成17年度可発整備技術者資格更新講習会会場増設について
北海道・東北・九州地区については、本部事務局において「更新講習サイクル表」に基づき、県単位で有資格者数をとりまとめた資料により、検討することが決定された
- 4、講習会用テキスト作成・試験問題作成について

協会支部名簿

平成16年10月現在

支部名称	支部長名	事務局長名	〒	所在地	TEL	FAX
北海道支部	富山 政明	得能 徹巳	060-0034	北海道札幌市中央区北四条東2-8-3 第2まるよビル4F	011-221-1485	011-222-5612
青森支部	気田 福俊	浅野 修司	034-0051	青森県十和田市伝法寺字大窪62-1 青森リース(株)内	0176-28-3111	0176-28-2837
秋田支部	根田喜久雄	佐藤 進	014-0001	秋田県大曲市花館下殿屋敷26 株大曲産業機械 北支店内	0187-66-3136	0187-66-3137
岩手支部	吉田 正晴	高橋 良男	028-3623	岩手県紫波郡矢巾町煙山第10地割27-1 旬ダイユウ機販明広内	019-611-2234	019-611-2234
宮城支部	館内 明夫	村上 光叶	984-0015	宮城県仙台市若林区御町5-5-1 仙台団地倉庫協同組合会館2F	022-238-1751	022-238-1752
山形支部	東海林寛次	東海林寛次 (兼任)	990-0864	山形県山形市陣場1-9-15	0236-84-9455	0236-84-2449
福島支部	後藤 泰治	斎藤 博	963-8862	福島県郡山市菜根4-11-32	024-933-7803	024-933-7813
新潟支部	酒井 安治	吉田 準一	950-0941	新潟県新潟市女池8-14-17	025-284-6605	025-284-5265
群馬支部	石塚 幸司	石原 栄志	371-0013	群馬県前橋市西片貝町4-5-15	027-243-2822	027-243-2822
栃木支部	酒井 知隆	沼子 典司	320-0041	栃木県宇都宮市松原2-5-21 栃木県木材会館4F	028-621-6062	028-621-1923
東京支部	荒井 敏彦	増淵 英機	101-0036	東京都千代田区神田北乗物町11番地 イザキビル4F	03-3255-0515	03-3255-0516
神奈川支部	金山 静雄	福島 洋子	221-0052	神奈川県横浜市神奈川区栄町2-10 アール・ケーブラザ横浜Ⅲ1103	045-440-1116	045-440-1117
長野支部	真瀬垣昇次	倉田 五郎	395-0004	長野県飯田市上郷黒田2731-1	0265-23-9605	0265-23-9605
静岡支部	福田 寛	福田 寛 (兼任)	421-1221	静岡県静岡市牧ヶ谷2420-1 第一建機工業(株)内	054-276-0543	054-276-0589
中部支部	榊原 章	水谷 勝治	460-0008	愛知県名古屋市中区栄1-14-14 御園パレス3F302	052-203-1657	052-203-1658
富山支部	澤田 将稔	小倉 秀信	938-0013	富山県黒部市沓掛567 株吉田商会内	0765-52-2688	0765-54-3307
石川支部	園田 外次	林 洋明	920-0018	石川県金沢市三丁目水13-1 コーポミックテ10号	076-238-7097	076-238-7097
福井支部	雨森 登	石田 齋保	910-0854	福井県福井市御幸4-19-25 広田第2ビル2F	0776-24-7295	0776-24-7296
滋賀支部	北岡 清	樋上ちえみ	524-0013	滋賀県守山市下之郷町637-3 第一観光ビル2F	077-581-0481	077-581-0481
京都支部	石橋久仁夫	吉田 栄次	604-8831	京都府京都市中京区四条通中 道西入 高石機械産業(株)内	075-802-0171	075-841-1595
大阪支部	北野 一雄	中谷穂利枝	556-0021	大阪府大阪市浪速区幸町2-3-14 ダイトービル505号	06-6561-7405	06-6561-7407
和歌山支部	角川 賀敏	丸田 美枝	640-8303	和歌山県和歌山市鳴神588-1 VPビル1F	073-474-5789	073-474-1038
兵庫支部	木田 芳晴	北條 弘	650-0025	兵庫県神戸市中央区相生町2-2-7 ツルビル2F	078-361-2481	078-361-2487
中国支部	阪本 敏彦	高島 英昭	733-0873	広島県広島市西区古江新町7-10	082-275-0532	082-275-0532
四国支部	田所 伸雄	明石 俊幸	761-0104	香川県高松市高松町42-13	087-841-2823	087-841-2835
九州支部	永島 賢治	北野 富也	812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東2-9-1 東福第2ビル6F	092-482-6685	092-452-2563
沖縄支部	山城 一三	伊川 武徳	901-2101	沖縄県浦添市字西原1-11-2-201	098-876-6410	098-876-6410

平成17年度講習会日程表

会場	日程	更新講習	新規講習
北海道会場	7月20日(水)		7月21日(木)・22日(金)
仙台会場	7月13日(水)		7月11日(月)・12日(火)
東京会場	7月26日(火)		7月27日(水)・28日(木)
中部会場	7月15日(金)		7月13日(水)・14日(木)
富山会場	7月26日(火)		
四国会場	7月14日(木)		
大阪会場	7月8日(金)		7月6日(水)・7日(木)
中国会場	7月4日(月)		7月5日(火)・6日(水)
九州会場	6月24日(金)		6月22日(水)・23日(木)
沖縄会場	6月20日(月)		6月21日(火)・22日(水)

- 5、平成16年度更新講習アンケート結果について
- 6、平成18年度用「定期点検済証票」普及ポスター作成について
- 7、平成17年度講習会スケジュールについて

あとがき

「かいほう」は、毎年1回6月に会員各位にご送付いたしておりましたが、本年当協会は、社団法人設立30周年を迎えましたので、「社団法人設立30周年特別記念号」と合併して発刊させていただきました。

なお、会長の挨拶の中にもありますが、「協会の財政状況、及び業界の現況」から、第79回理事会終了後、懇親会を兼ねた「記念祝賀会」が開催されましたので、スナップ写真を掲載させていただきました。

また、第31回定期総会は5月27日に開催され、任期満了に伴い役員の改選等が滞りなく終了いたしており、新役員のもと平成16年度事業計画も

推進されておりますが、特に、実務に直結できることを目的とした「管理者教育講習会」が、既に、9支部で開催され好評を得ております。今後、各支部におかれまして継続的に開催されますようお願いいたします。

なお、平成16年度より、総務委員会広報担当を私が仰せつかりました。事務局スタッフと共に、充実した編集に取り組みますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、会員各位の皆様の益々のご隆盛を祈念申し上げます。

平成十六年十一月

総務委員会広報担当

館内 明夫

かいほう No.60

発行日 平成16年11月

発行者 社団法人 全国建設機械器具リース業協会

〒101-0036 東京都千代田区神田北乗物町

11番地 イザキビル4階

TEL 〇三―三二五五―〇五一―

FAX 〇三―三二五五―〇五一―

発行責任者 総務委員会広報担当 館内 明夫

制作編集 株式会社 ミヨシ

〒106-0032 東京都港区六本木2―2―5

新赤坂ビル

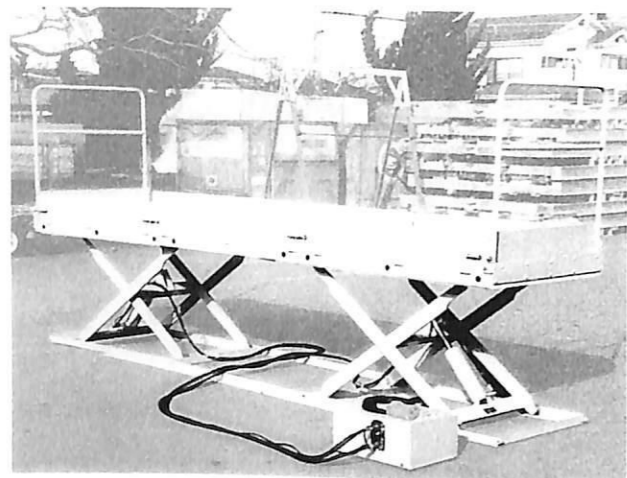
TEL 〇三―三五八五―一八六一



ダンサポートくん

DANSAPORT-KUN

建築工事における様々な段差を解消します！



現場に合わせた柔軟な設置

ベランダなど様々な現場に設置して資材を一括搬入。重機類では対応できない、ベランダ越し資材搬送の効率化に最適です。

簡単に組立・解体作業が可能

搬入場所に合わせて現場で組立、解体が簡単に可能です。状況に対応した小回りのきく搬入作業を実現します。

軽量化・低騒音化

設計段階より徹底した軽量化を実現。台車による高効率搬入作業が可能となり、現場での安全性が一層向上します。

STEP1



資材をエレベーターに一括搬入

フォークリフトなどで資材を一括搬入。GL部での資材積み込み作業も一層効率的になります。

STEP2



工専用エレベーターで上層階へ

ロングスパンエレベーターなどで資材を一気に目的の上層階へ。

STEP3



簡単操作でベランダの「段差」を解消

簡単な油圧ユニットのボタン操作でベース部分が上下しますので、現場状況に合わせて安全・ラクラクな資材搬入が可能となります。

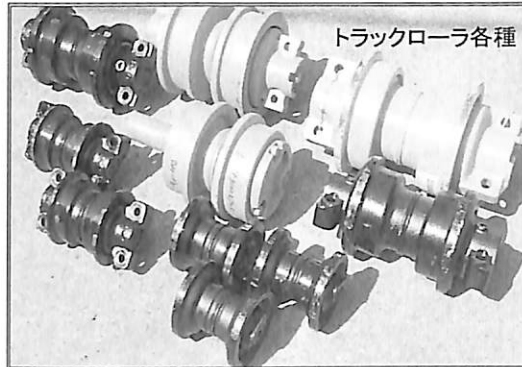


ユアサ商事株式会社

建設機械の消耗部品を 魅力ある価格で提供！！

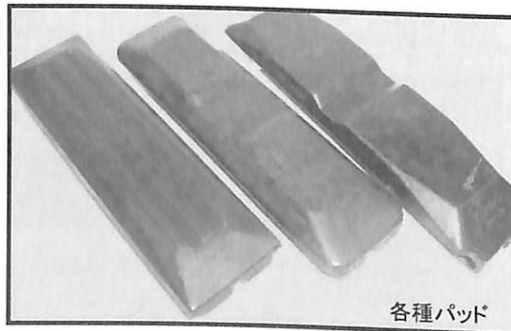


各社ツース・ポイント類



トラックローラ各種

消耗部品ならコマツオールパーツサポート(株)



各種パッド



建機、トラック用各種エレメント

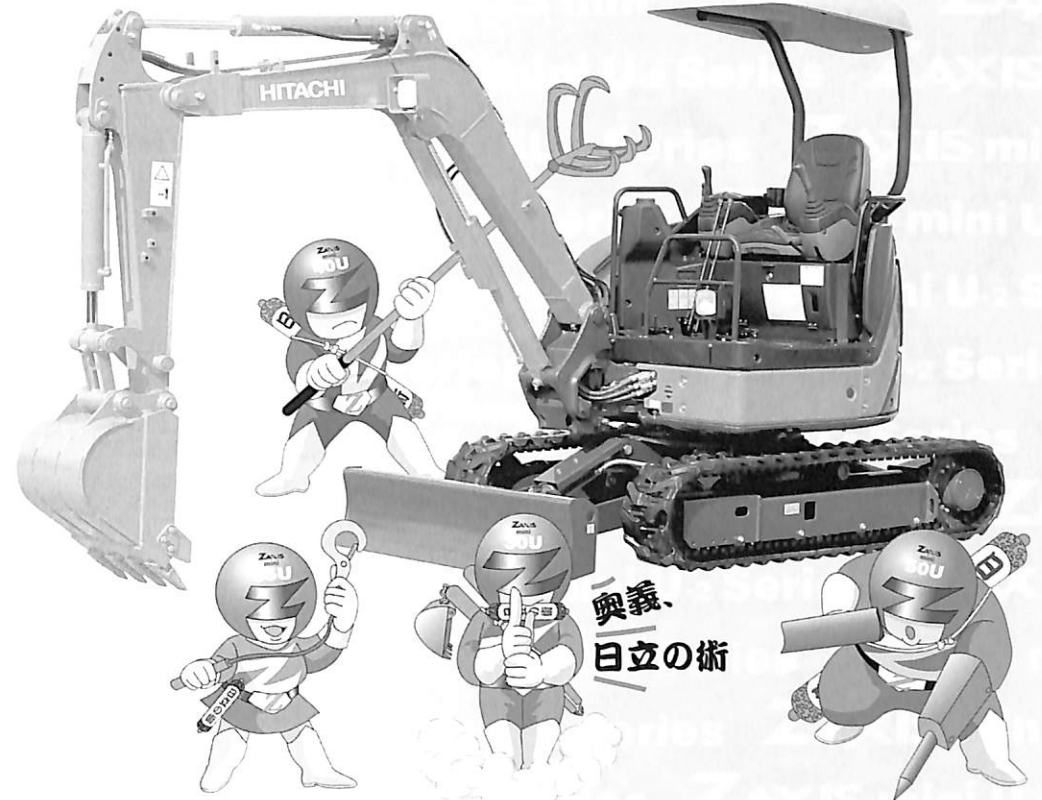
各種足回り部品

<主な取扱い商品>

- ・建設機械・トラック用各種エレメント
- ・シュー、リンクアッセン、ゴムパッド
- ・バケット・ツース&ポイント
- ・カッティングエッジ・エンドビッド
- その他各種消耗部品



コマツオールパーツサポート(株)
〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6
Tel:03-3568-7461 fax:03-3568-7462



奥義、
日立の術

奥の手 誕生!

ミニの極意をきわめたマシン、それがZAXIS ミニU-2シリーズです。
作業は安全に効率よく、操作はゆったり快適に…
仕事の極意がギッシリ詰まった「奥の手」が、多彩な作業を手助けします。

奥の手 安全性、快適さを追求 其の1

- 広い室内幅、耐震構造のフロアマウント
- ROPS/FOPS対応キャブ・4柱キャノピを標準装備
- 盗難予防機能も充実

奥の手 工期短縮を実現 其の3

- 基本性能の向上
- 機能性の高い後方超小旋回機
- スムーズ&スピーディな複合動作

奥の手 メンテナンスの手間、時間を軽減 其の2

- 傾斜角の大きなチルトアップフロア
- 上下スライド式のエンジンカバー
- 泥はけの良いソイルフリートラック

奥の手 現場周辺にも配慮 其の4

- 排出ガス対策型、低騒音型(超低騒音型)の指定機申請中
- リサイクル率95%以上を達成

	標準バケット容量	機械質量*
ZAXIS 30U-2	0.09m ³	2,990kg
ZAXIS 35U-2	0.11m ³	3,400kg
ZAXIS 40U-2	0.14m ³	4,310kg
ZAXIS 50U-2	0.16m ³	4,650kg

*機械質量は4柱キャノピ仕様です。また、写真の2柱キャノピはオプション品です。

後方超小旋回機
ZAXIS
ミニU-2シリーズ

日立建機

日立建機株式会社 東京都文京区後楽2-5-1
〒112-8563 ☎ダイヤルイン(03)3830-8033
URL: http://www.hitachi-kenki.co.jp

日立建機ティエラ

株式会社 日立建機ティエラ
滋賀県甲賀郡水口町笹ヶ丘1-2 〒528-0061
☎(0748)62-6431 URL: http://www.tiera.co.jp

性能で、信頼で選ばれる 理由がココにあります。

エンジン発電機 超低騒音で、夜間作業ができる！

パワフルで環境にやさしいクリーンエンジン搭載。
もちろん第2次排出ガス対策型建設機械です。



DCA-25ES
50Hz20kVA・60Hz25kVA



DCA-45ESI
50Hz37kVA・60Hz45kVA



DCA-60ESH
50Hz50kVA・60Hz60kVA

エンジン溶接機 あらゆる溶接棒が溶接でき、さらに溶接音が静か！

大容量で良質な交流電源を実現。
さらに、クリーンエンジン搭載で環境対策を重視。



GAW-150ES
30~150A



DLW-300ES
30~300A



DLW-400ESW
30~400A

コンプレッサー 排ガス・騒音環境対応で、周囲に気兼ねなく作業！

アフタークーラ内蔵 (AC) など、お客様の厳しいニーズを形にしました。



DIS-90AC
2.5m³/min 0.69Mpa



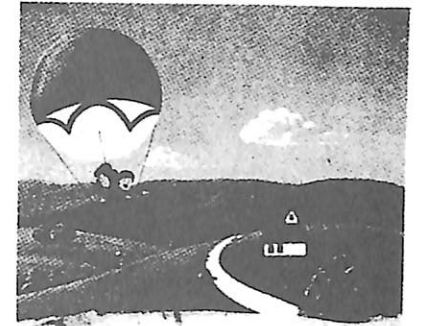
DIS-180AC
5.1m³/min 0.69Mpa



DIS-765US
21.7m³/min 1.27Mpa

厚生年金基金加入で 豊かな老後設計を

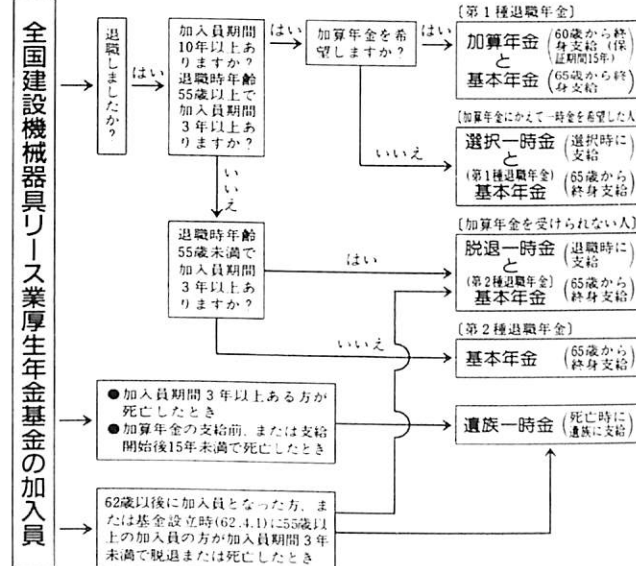
国の老齢年金部分より多い年金を受取るための
制度です。人生80年時代に備え、国の年金と並
んで老後生活を支える支柱として、加入される
方々が年毎に増えております。



社員の方々には
— 老後の安心を —
企業にとっては
— 人材確保と繁栄を —

当基金では、年金、一時金の支払い
のほか、各種福祉事業を行っており
ます。
厚生年金基金についてのご質問、ご
相談は下記までお問い合わせ下さい。

あなたはこんな給付が受けられます



- 【注】
- 基本年金(基本部分の給付)については、加入員期間が10年未満で退職時の年齢が55歳未満の場合は、厚生年金基金連合会に支給義務が移転し、同連合会から支給されます。
 - 前記のうち、加入員期間が3年以上ある方、又は退職時の年齢が55歳以上60歳未満で加入員期間が3年以上10年未満の方は、本人の選択により、脱退一時金に代えて年金として受けることができます。(基本加算年金といひ、前記の連合会から支給されます。)
 - 基本年金は、65歳以後も加入員である場合は、退職(70歳に達したため基金からの脱退を含む)したときから支給します。
 - 基本年金については、加入員であっても国の「老齢厚生年金」が受けられるようになったときは、そのときから受けられます。
 - 加算年金については、現在の会社を退職し、当基金の加入員でなくなった場合には、たとえ他に勤務していても60歳以後支給されます。
 - 加算年金は、加入員であっても65歳から支給されます。

年金一口メモ

加算年金の15年保証期間つきとは……
●基金から支給される加算年金は終身年金ですから、本人が生存する限り支給されます。しかし、年金受給期間が15年未満で本人が亡くなった場合には、15年から受給済期間を差し引いた期間相当分を遺族一時金として支給するという仕組みになっています。つまり15年間は完全に受給権が保証されるというものです。

全国建設機械器具リース業厚生年金基金

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-7-5
明治安田生命飯田橋ビル 5階

TEL 03 (3230) 3871



環境を最優先としたグローバル企業へ

やっぱり納得!!
ツルミの

土木建設工事機器

水中ハイスピンポンプ(電極式自動運転形)

LBA型

単相100Vタイプ



オイルリフター装備
国内外特許出願
実用新案登録

水切構造
採用

コンパクトなのにパワフル、
自動運転ポンプもラインナップ。
■出力: 0.25~0.48kW
■吐出し口径: 40・50mm

KTVE型

三相200Vタイプ



オイルリフター装備
国内外特許出願
実用新案登録

水切構造
採用

騒音防止、省エネ性を追求した
自動運転ポンプ。
■出力: 0.75~5.5kW
■吐出し口径: 50・80mm

オイルリフター(国内外特許出願・実用新案登録)とは、メカニカルシール用潤滑装置です。
オイルリフターの装備により、オイルは上部摺動面に常に潤滑・冷却し、安定した潤滑特性を維持できます。

水切構造とは、心線のすき間をシールし、心線のわずかなすき間を伝わってくる水のモータ内への浸水を防止します。

ジェットポンプ(高圧洗浄機)

エンジン駆動タイプ

HPJ型

モータ駆動タイプ



あらゆる現場で活躍する電源不要タイプ。
■出力: 1 {1.4} / 1800~11kW {15PS} / 1800min⁻¹
■圧力: 3.4 {35} ~ 19.6MPa {200kgf/cm²}



使用条件から選べる豊富なバリエーション。
■出力: 1~18.5kW
■圧力: 3.9 {40} ~ 19.6MPa {200kgf/cm²}

株式会社 鶴見製作所

大阪本店: 〒538-8585 大阪市鶴見区鶴見4-16-40 TEL (06) 6911-2351 FAX (06) 6911-1800
東京本社: 〒110-0016 東京都台東区台東1-33-8 TEL (03) 3833-9765 FAX (03) 3835-8429

北海道支店: TEL (011) 787-8385 北関東支店: TEL (048) 688-5522 北陸支店: TEL (076) 268-2761 中国支店: TEL (082) 923-5171
東北支店: TEL (022) 284-4107 新潟支店: TEL (025) 283-3363 近畿支店: TEL (06) 6911-2311 四国支店: TEL (087) 815-3535
東京支店: TEL (03) 3833-0331 中部支店: TEL (052) 481-8181 兵庫支店: TEL (078) 575-0322 九州支店: TEL (092) 452-5001

www.tsurumpump.co.jp

Kubota

美しい日本をつくらぬ。



世界が選んだクボタのミニバックホー。 さらに「安心」と「安全」を追求し、新登場。

■業界初!オリジナル盗難防止装置 「SSキー」を標準装備

クボタが開発した「SSキー(Safety&Security)」は、
キーに埋め込まれたICチップのキー番号を本体が
認証することで、はじめてエンジンが始動する仕組みです。



安心

キーの形状が同じでも、
別のキーで始動させようと
するとセキュリティシステムが
作動し、警報が鳴ります。

■世界標準の安全性 「4ポストROPS/FOPSキャノピ」 を標準装備

世界標準の4本支柱の
ROPS/FOPSキャノピ
(シートベルト付)を採用。
オペレータの安全性を
高めます。

※超小旋回機除く



新登場!!

後方小旋回機
U-30-3S・U-35-3S・U-40-3S・U-50-3S
超小旋回機
RX-303S・RX-403S・RX-503S
標準機
K-030-3S・K-035-3S



U-40-3S
4ポストキャノピ仕様



U-30-3S
4ポストキャノピ仕様



U-40-3S
キャノピ仕様



K-030-3S
2ポストキャノピ仕様



RX-403S
キャノピ仕様



RX-503S
キャノピ仕様

株式会社クボタ

建設機械事業推進部

〒573-0004 枚方市中宮大池1-1-1 TEL.072 (890) 2885 FAX.072 (890) 2884

(株)クボタ建機北海道 北広島市大宮工業団地 011 (377) 5511 (株)クボタ建機東日本 さいたま市西場 048 (865) 5181
(株)クボタ建機西日本 伊丹市奥畑 072 (781) 7715 (株)クボタ建機九州 熊本市八幡 096 (358) 6200

URL: http://www.kenki.kubota.co.jp

KOBELCO

ビッグなミニだ。

コベルコの新型ミニ、ビートル。圧倒的な存在感で堂々誕生!

見る人はまず、このデザインに新しさを感じるだろう。乗る人は、操作空間の広さと快適さに驚くだろう。しかし、このニューマシンの本当の姿は使う人しか知り得ない。パワーあふれる掘削性能、走行性能、ドーピング作業の効率性。一度でも知ってしまったら忘れられないその作業感覚。クラスはミニでもその価値はかつてなくビッグ。コベルコ自信の新型ビートル、いよいよ登場!

- 新油圧システム IFPS & 大出力エンジン
- 新形状ドーザ
- 重機ショベル並みの運転空間
- クイックアプローチ機器レイアウト
- 新材質、大断面の高強度アーム



ビートルが変わった。NEW Beetle

SK20SR ● バケット容量: 0.066m³ ● 機械質量: 2,100kg
SK27SR ● バケット容量: 0.08m³ ● 機械質量: 2,490kg
SK30SR ● バケット容量: 0.09m³ ● 機械質量: 3,000kg
SK35SR ● バケット容量: 0.11m³ ● 機械質量: 3,580kg
SK40SR ● バケット容量: 0.14m³ ● 機械質量: 4,200kg
SK50SR ● バケット容量: 0.16m³ ● 機械質量: 4,630kg

※機械質量はキャビン・ゴムクローラ仕様の数値です。

コベルコ建機株式会社 <http://www.kobelco-kenki.co.jp>
 東京本社/〒141-8626 東京都品川区東五反田2-17-1 ☎03-5789-2111

Move The World.



ミニショベルはここまで進化した。
安全、悠然、健全を追求し、基本性能も新領域へ

MR-2



PC50MR-2
写真はオプション装着車です



PC30MR-2

体で感じる
性能の差

抜群の安定性
後方超小振動なのに、高い安定性を確保

すばめけた作業量
もっと速く作業を、のびのびを実現、作業範囲も拡大

確かな操作性
定評の「圧力補償式CLSS」がオペレータの息のままの操作を実現

安全 成形に

一歩先をゆく安全機能。世界レベルのオペレータ保護構造(2本柱のROPSSヘッドガードキャビン)を標準装備。

悠然 成形に

目指したのは操作する人の心地よさ。クラス最大級のオペレーション空間を実現。

健全 成形に

整備のしやすさを限りなく追求。ワイドオープン構造の新設計X型トラックフレーム。

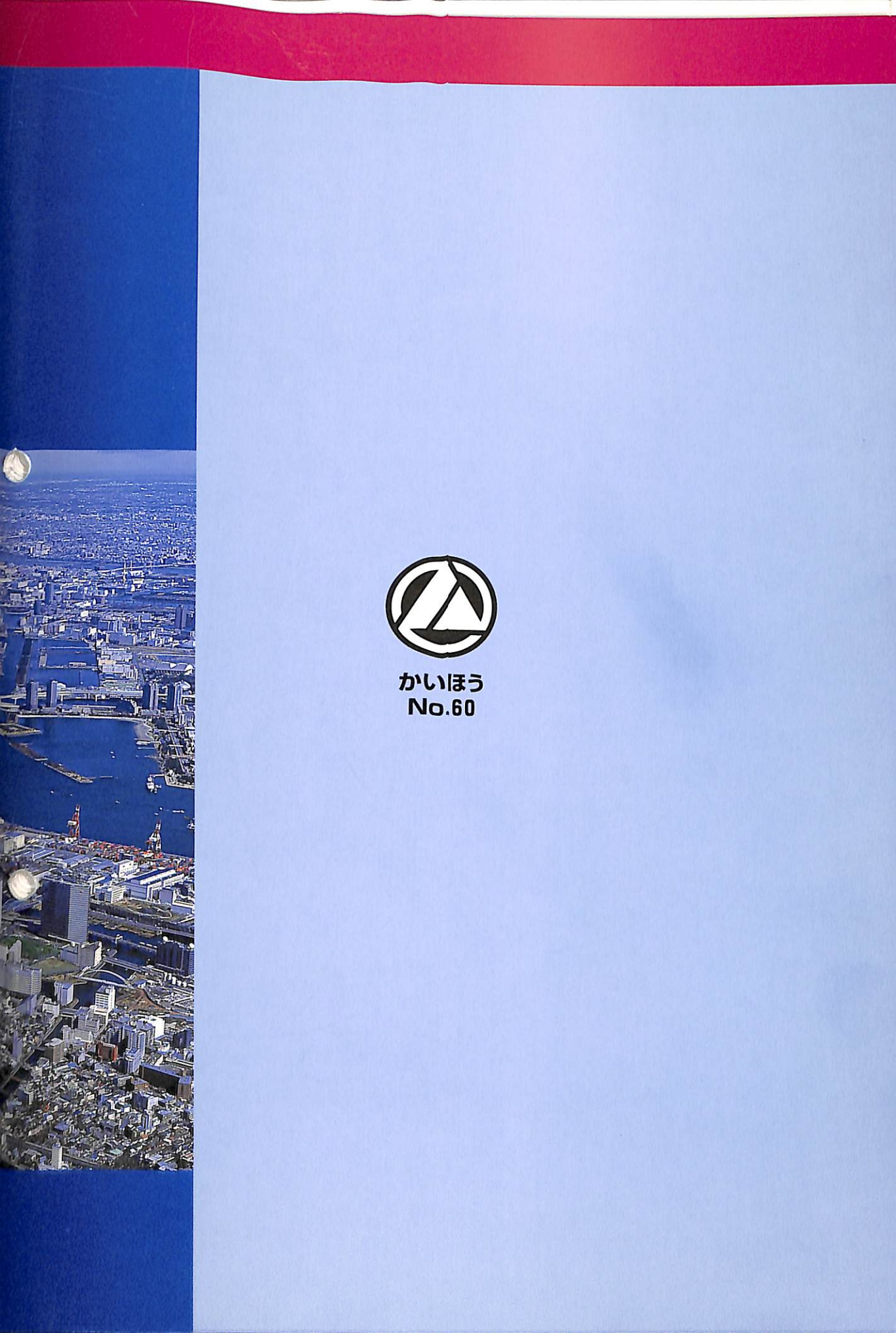
全シリーズ、環境配慮型健全マシンです。

●国土交通省排出ガス2次規制適合
NOxやハイドロカーボンなどの排出量を抑えたクリーンなエンジンを搭載。しかも、北米(EPA)・欧州(EU)の排出ガス2次基準をクリア

●国土交通省超低騒音型建設機械
低騒音型エンジンの搭載と各部の防音・吸音構造の採用により、作業時の騒音を大幅に低減。MR-2専用サイト <http://www.komatsu.co.jp/mr-2/>

項目	単位	PC20MR-2 (x仕様)		PC27MR-2 (x仕様)		PC30MR-2 (x仕様)		PC35MR-2 (x仕様)		PC40MR-2 (x仕様)		PC50MR-2 (x仕様)	
		キャビン	キャブ	キャビン	キャブ	キャビン	キャブ	キャビン	キャブ	キャビン	キャブ	キャビン	キャブ
機械質量	kg	1990 (2180)	2155 (2345)	2780 (2990)	2995 (3165)	2990 (3180)	3165 (3355)	3580 (3740)	3755 (3915)	4540 (4790)	4690 (4940)	4790 (5040)	4940 (5190)
定格出力	kW/rpm (PS/rpm)	15.5/2500 (21/2500)		19.0/2600 (26/2600)		20.6/2500 (28/2500)		21.7/2400 (29.5/2400)		29.4/2350 (40/2350)		29.4/2350 (40/2350)	
標準バケット容量 (m ³)	m ³	0.066		0.09		0.09		0.11		0.14		0.16	
全幅	mm	1450		1550		1550		1740		1960		1960	
最大掘削深さ	mm	2350		2650		2910		3170		3500		3800	

KOMATSU コマツ 営業本部 TEL.03-5561-2714
 〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6 <http://www.komatsu.co.jp/>



かいほう
No.60